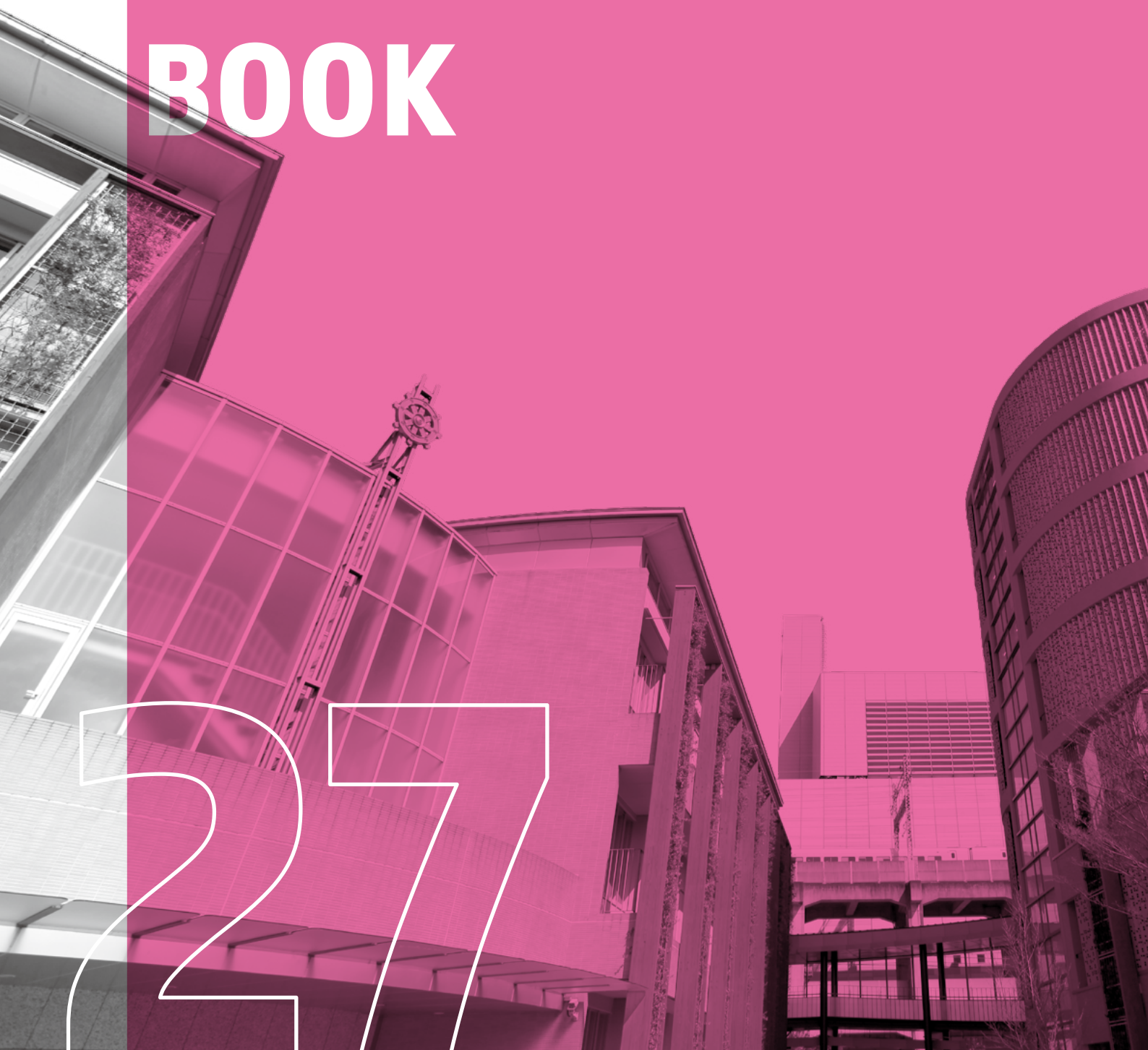
淑徳与野中学校

学校説明会資料

2027 DATA BOOK



27

130 有余年の歩み
今に受け継がれる『淑徳』の心

日本が近代国家への道を邁進していた明治 25 年（1892 年）。いまだ男性優位の風潮が蔓延るこの時代にあって、『淑徳』は、女性の自立を掲げた一人の教育者の、燃えるような教育への情熱によって生まれました。

その人の名は輪島聞声。我々は尼僧でもあったこの方を、今も校祖と仰いでいます。

校祖は、女性の自立の基を『静淑の徳』という、深い知性と、情緒に富んだ人間性とに備わる高潔な人格に求められ、その涵養の大切さを繰り返し説かれました。

因みに校名＝淑徳が、この言葉に由来していることは申すまでもありません。

淑徳与野中学・高等学校ではこうした校祖の遺志を、時代を超えて、まさに不易なる教育方針と捉え、単に、大学進学のための勉学にとどまることのない、広く人間性の開発に連繋する、そんな教育内容をめざしています。

さて、校祖によって始まった淑徳教育の小さな流れは、これをさらに拡大させた、学祖 長谷川良信先生の努力で、現在では、幼稚園から大学までを擁する総合学園という、大きな流れにまで発展しました。

淑徳与野中学校は、すでに 79 年の歴史を持つ淑徳与野高等学校の併設校として、2005 年 4 月に開校いたしました。中高 6 年間の一貫教育で、「高い品性」「豊かな感性」「輝く知性」を備えた女性の育成を教育目標に掲げています。

2026 年 3 月にはその第 16 期生が高校を卒業、4月には第 22 期生を迎え入れました。この 20 年間で培われてきた伝統は、また新たな学校の歴史として積み重ねられていきます。

21 世紀は女性の時代だといわれます。

進んで英知を磨いてほしい。その一方で心の涵養にも努め、その調和をめざしてくれればなによりです。淑徳与野中学・高等学校に携わる我々はいつもそのように願っています。

校長　黒田 貴



もくじ

Interview

キャリア教育の PDCA を推進 …… 3 p
淑徳与野中学・高等学校教育顧問 高橋俊之氏に聞く

1 教育方針

建学の精神・教育理念・教育目標 …… 7 p
中・高の連携 …… 8 p

2 学習・進学指導について

1 中高一貫の学習指導
中高一貫 進路指導計画の流れ …… 9 p
2 カリキュラム
中学カリキュラム・時間割例 …… 11 p
高校カリキュラム …… 12 p
3 シラバス …… 13 p
4 進学実績
中高一貫生卒業後の進路 …… 15 p
主要大学合格状況 …… 15 p
卒業生に聞きました …… 16 p
5 各教科から [国語科] …… 17 p
[算数・数学科] …… 18 p
[社会科] …… 19 p
[理　科] …… 20 p
[英語科] …… 21 p

3 国際教育

視野を広げる国際教育プログラム …… 22 p

4 学校生活について

生活時間・制服 …… 23 p
中学校の主な年間行事予定・仏教行事 …… 24 p
宿泊を伴う行事・体験学習について …… 25 p
「創作・研究」について …… 26 p
なでしこ発表会・合唱コンクール・スポーツ大会 …… 26 p
生徒会活動・土曜講座 …… 27 p
クラブ活動 …… 28 p

5 入学試験情報

1 入試結果と入学案内
2027 年度入学案内 …… 29 p
過去の入学試験結果 …… 30 p
主な併願校 …… 30 p
2 入学時・1 年次納入金
学費等納入金一覧・指定品等一覧 …… 31 p
校外学習の費用など …… 32 p

6 学校基本情報

校舎・施設 …… 33 p
中学在籍者地域別一覧 …… 35 p
主な駅からの所要時間・案内図 …… 35 p
Q&A …… 36 p

2027 年度入試 学校説明会（予約制）

2026 年

9月26日(土)	10:00 ～ 12:00 (9:30 開場)
10月10日(土)	10:00 ～ 12:00 (9:30 開場)
11月 7日(土)	10:00 ～ 12:00 (9:30 開場)
12月11日(金)	13:30 ～ 15:30 (13:00 開場)

内容

- ご挨拶・淑徳の教育
- 中学校の教育方針
- 2026 年度入試結果報告
- 2027 年度入試概要説明

※ 9 月 26 日、10 月 10 日、11 月 7 日は土曜講座も見学できます。
※ 12 月 11 日は在校生が校内を案内します。
※ 4 回ともすべて同一の説明内容です。
※終了後、自由に施設見学ができます。
※上履き等をご用意ください。

※すべての説明会は予約制です。
詳細はホームページでご確認ください。
https://www.shukutoku.yono.saitama.jp/junior/exam/briefing.html

・学校説明会・

キャリア教育のPDCAを推進

思考力・表現力、主体性・協働性を育み 生徒一人ひとりの未来につながるキャリア教育

淑徳与野中学・高等学校教育顧問　高橋俊之氏に聞く

淑徳与野中学・高等学校では、新学習指導要領の導入にさきがけ、キャリア教育の改革を進めてきました。文部科学省が掲げる学力の３要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・多様性・協働性）をいかに身につけていくか。改革にあたり、立教大学や早稲田大学でリーダーシップ教育プログラムの開発に取り組んだ実績を持ち、本校の教育顧問としてご協力いただいている高橋俊之氏にお話を伺いました。（聞き手：淑徳与野中学・高等学校 校長　黒田 貴）



自己分析と自己開示を推進する「インパクト体験棚卸し」

黒田　先生にご指導いただいて始めた「インパクト体験棚卸し」は、中学と高校それぞれ定例の取り組みになりました。生徒たちにとって、自分自身の体験や出来事（インパクト体験）を振り返り、そこから応援したい人や実現したい社会を考えることは、これからの進路を考えていくうえで、とても大きな意味があると感じています。

高橋　「インパクト体験棚卸し」（図1）は、大学生のキャリア教育のために開発したものです。中学生や高校生では、まだ「インパクト体験」と呼べるものが少ないのではないか、と心配もあったのですが、そんなことはありませんでしたね。

黒田　はい。運動競技や文化的活動で良い成績をとったこと、病気や怪我での入院、友だちとのけんか、中学・高校受験など、生徒たちはさまざまな出来事をインパクトのある体験として受け止めています。その体験をグループワークで共有するというのは、これまでにない経験のはず。「自分のことを話せたのがうれしい」「友だちが聞いてくれた」「それはすごいね！ と驚いてくれた」「苦しい体験を持つのは自分だけじゃないんだと知った」など、ワークショップ実施後の感想文を見ると、さまざまな発見があることがわかります。

高橋　「自己開示」というのは、キャリア教育の中でとても重要なことです。一つには、自分のことは意外と自分では分かりにくいからです。そこで自分を作ってきた体験を話すことでチームメンバーから「そんなことを乗り越えてきたってことはこういうふうにすごいよ」「だからこういうことを大事にしているんだね」と強みや価値観を「教えて」もらえます。

もう一つは、そうやってメンバーに自分のインパクト体験を受け止めてもらうことで、自分や自分の生きてきた人生（笑）をより肯定的に見られるようになります。そうすると将来のキャリアについても、学校生活においても、より積極的に「自分を活かす」ことを考えられるようになります。

さらに、お互いの自己開示によって、「人間」についての考えが一段深くなりえます。これはキャリア教育に限らず、生きていく上で、大きな意味を持つと考えています。

「全員発揮のリーダーシップ」書籍で紹介された淑徳与野の教育

黒田　高橋先生の著書『リーダーシップ教育のフロンティア』

図1　インパクト体験棚卸し

生徒たちにとって、これまでに体験した出来事のなかで特に印象に残っていること、自分自身の行動や考え方に強く影響を与えたと思われる出来事（インパクト体験）を振り返り、そこから応援したい人や実現したい社会を考える。

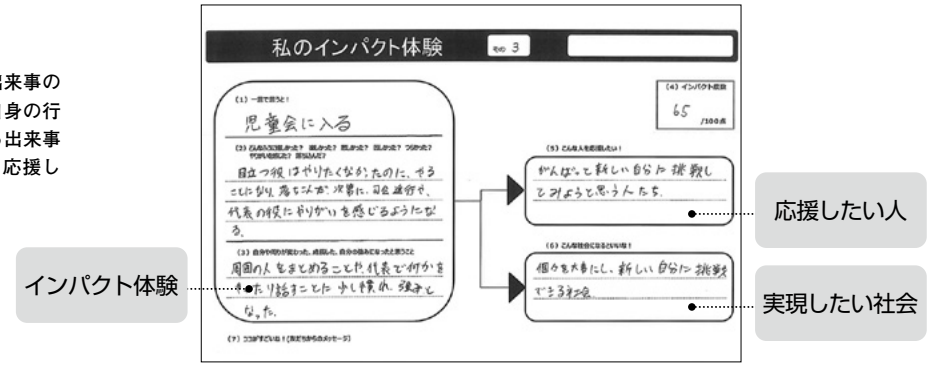


図２　リーダーシップ教育の先進事例



本校の教育活動が紹介されている高橋先生の編著書
『リーダーシップ教育のフロンティア』（北大路書房）


Front Line
リーダーシップを活かし，
１日１時間半の練習で全国大会を目指す
私立淑徳与野高等学校 剣道部

全国大会で活躍する高校の運動部といえば、優れた指導者の元、高校生活のすべてをその種目に打ち込む姿が思い浮かぶ。埼玉県の私立高等学校である淑徳与野高校剣道部も、毎年のように県代表選手を輩出し、インターハイの団体戦に何度も出場している強豪校だが、活動の様子は少し違う。生徒の９割以上が国立や４年制大学に進学する進学校でもあり、クラブ活動は「学業に差しさわりのない範囲」に設定されているため、いくら好きでも「剣道漬け」とはいかない。平日の練習はわずか１時間半。休日も半日しか練習はしない。定期試験前に活動は中止するし、放課後や長期休暇中の進学講座も、志望大学に合わせて一般生徒と同じように受講する。制約の多い中で成果を上げる剣道部にどんな秘訣があるのだろうか。練習を見学させていただいた。

午後４時半。１日７時間の授業を終えた生徒たちが道場に集まってくる。全員での準備やはルーティンなのだろう。上下素振り30回、正面素振り30回、足さばき・踏み込み足などの基本動作が10分間ほど。続いて面をつけて、切り返し打ち、基本打ち、体当たり……。約20種類はどのメニューが数分単位で続いている。あっという間に１時間がたつ。最後の30分間、実戦に近い「互角稽古」と「掛かり稽古」をして練習は終わる。

えっ、これだけ？と感じるほど短い。ただ、同時に感じるのはムダがないということだ。練習間の切り替え時も部員たちの動きが速い。かといって「管理されている」感じではない。

「時間が短いからこそ、集中できるんです」と話してくれたのは、３年生副部長の岩崎晴さん。

「短時間にたくさんのメニューをこなすので、その一本は１日に１回しか練習できません。だからこそ、その一本に真剣になる。その一本がどうやったら試合で打てるのかと、考えながらやるようになります」

▲ 顧問の平井先生は、団体の陽玉神選抜の監督を務める42の指導者。練習の中、何度も生徒を集めて「この練習の目的は？」と問いかける。▼ 後輩を指導する上級生。「教えること」が、自分自身の成長につながるのは、剣道と同じだ

練習中、気になったのは、生徒同士が道場のあちこちで会話している様子だ。聞くと、上級生が、後輩の指導をしているのだという。自分が打っていないときも人の動きを真剣に見ているから、このような“場”の緊張感が生まれているのかもしない。

生徒にインタビューしていると、「淑徳与野の剣道」という言葉が頻繁に出てくる。それは、「メンで一本を取る『きれいな剣道』」なのだという。

３年生で、団体戦の大将を務める安達小枠さんは、その「きれいな剣道」に憧れてこの学校に入った。

「遠間から振りかぶってメンを打ち込んでいくので、他校の生徒からは、下（コテやドウ）を狙われるのですが、それでもメンにこだわります。『そういう剣道を一緒にやろう』と顧問の平井健輔先生に声をかけられて入学を決めました」

メンという基本動作にこだわる理由を、その平井先生に聞いた。

「剣道を生涯スポーツとしてやってほしいので、この先10年、20年と続けていくならば、高校時代は基礎を作る年齢。小手先の技で一本を狙うのではなく、最も基本となるメンをしっかり打てるような剣道を身につけることで、卒業後の伸びにつながっていくと考えているからです」

何気なく見ていると、優れた指導者のリーダーシップだけが際立つように感じるかもしれない。しかし、生徒たちはクラスに戻っても、「先生の狙いを先読みして行動できるようになった」「目的を考えて中力を工夫するようになった」と話している。剣道部の活動から、それぞれのリーダーシップを育んでいるのだ。詳しくは第２章で紹介する。

（図２）で本校のことをご紹介いただきました。この本のサブタイトルが「高校生・大学生・社会人を成長させる『全員発揮のリーダーシップ』」でしたが、この「全員発揮のリーダーシップ」という言葉がとても新鮮で、興味深く読ませていただきました。

高橋　ありがとうございます。この本は、立教大学や早稲田大学などでリーダーシップ教育に取り組んでいる講師陣の共著によるものなのですが、「リーダーシップは誰もが発揮できる」という、最近の考え方をとっています。従来型のリーダーシップは、チームのリーダー（クラブの部長とか、会社の管理職とか）が、その権限やカリスマ性によってみんなを引っ張ったりまとめたりすることと考えられていました。でも、それだと、チームが生み出す成果は、リーダーの能力の限界を超えることはできません。複雑かつ変化が多く、スピードと創造性が求められる今日の社会では、チームのメンバー全員が、自分の得意なことを生かして主体的に取り組んでこそ、大きな成果が得られます。そのようなチームにおける、互いの「影響力」こそ、メンバー一人ひとりのリーダーシップです。

さらに、リーダーシップというのは天性の才能ではなく、誰でも学習によって「その人らしいリーダーシップ行動を取れるようになる」ということも重要です。このようなリーダーシップ教育の実践例として、淑徳与野のキャリア教育やクラブ活動の事例を紹介させていただきました。

黒田　中学・高校でいえば、生徒会長や部活の部長のような役職に就くのは一部の生徒に偏りがちです。そういう生徒だけではなく、すべての生徒が発揮できる、その生徒なりのリーダーシップの形があり、それは、学校で教育することによって身につけられるということですよね。

高橋　そうです。リーダーの役割は、自分が一人で引っ張ることではなく、すべてのメンバーが力を最大限に発揮できるようなチームを作ることになります。淑徳与野の剣道部は、そのようなリーダーシップが発揮されているとても良い事例だと考えて紹介させていただきました。

うかがったところによれば、平日の練習はわずか１時間半。土・日もどちらかの半日しか練習しないそうですね。全国大会に出場するような強豪でありながら、それほど短い練習時間で成果が出せるのは、部全体でリーダーシップが発揮されているはずだと思ったのです。

黒田　そうでしたか…。本校は、クラブ活動参加の有無に関わらず、ほぼ全員が４年制大学への進学を希望していますので、学業にも相当な力を入れており、部活の活動時間もおのずと短くなります。

高橋　練習を見学させていただき、顧問の平井健輔先生と生徒さん数名とお話をさせていただいて、「まさに、リーダーシップの実践だ」と納得しました。それは、本のなかでも触れていますが、リーダーシップ行動の最小３要素、すなわち①率先垂範、②相互支援・環境整備、③目標設定・共有の３つがしっかりと行われていたからです。

黒田　率先垂範は主体性、相互支援・環境整備は協働性と言い換えることもできそうですね。

高橋　はい。その２つは「全員発揮」がイメージしやすいですね。ちょっと分かりにくいのは目標設定・共有です。「どこの学校の部活でも目標は設定している」と思われるかもしれませんが、ここでいう目標は全員の行動基準とエネルギーにつながるものでなければなりません。

そこで平井先生は「淑徳与野がめざす剣道とは何か」を明確に「文武両道」と「美しい剣道」と定義しています。前者は、もちろん大学進学との両立。後者は、小手先のテクニックに頼らず、大きく踏み込む「面」を基本とした剣道のことです。そのような見た目にも美しい剣道を高校時代に身につけること

図３　淑与野生が身につける「5 つの力」

淑徳与野のキャリア教育において、生徒たちに身につけさせたいと考えている５つの力。主体的に人生を切り拓き、リーダーシップを発揮できる女性をめざす。



で、大学生や社会人になっても強くなっていけるのだそうです。これらの目標があることで、生徒たちは、その高い目標に誇りを持ち、短い時間で密度の濃い練習をすることに主体的に取り組むことができていると感じました。

黒田　本校には、剣道部のほかにも吹奏楽部やバトン部、バレーボール部など、県大会、全国大会レベルで活躍しているクラブがいくつもあります。みな、限られた時間の中で成果をあげているわけですから、同じことが言えるのかもしれませんね。

高橋　練習後、生徒の一人は「必要な練習メニューを短時間にこなすので、集中力が大切で、練習中はすごく頭を使う」と話していました。「今打つ１本は今日は１回しか打てないかもしれない。だからこそ、その１本に真剣になるし、試合で生かすためにはどうしたらいいかも考える」と。時間が短いからこそ集中力が高まるわけですね。

黒田　そのお話は「剣道」を「勉強」と置き換えても、そのまま成り立ちますね。

高橋　まさに、その通りですね。実際、キャリア教育でやりたいことや今やっていることの意義がいろいろ見えてくると、勉強も行事も部活も集中して取り組むようになるのは大学生でもよくあります。それから、相互支援のことですが、剣道部では、上級生が下級生の技術指導をするということを徹底していました。先生は３年生の指導をするのみで、下級生への指導はその３年生たちに任せているとおっしゃっていました。そのことによって伝えたいこと、学んでほしいことが生徒たちに共有されていきます。上級生は、自分が上達することだけでなく、下級生みんながどうやったら強くなれるかを考えて、お互いにアドバイスしあう。一方、下級生は「教え方が悪い」と先輩が怒られないように、必死につかもうとする。これこそ、「リーダーシップが発揮されているチーム」そのものなんですね。

総合学習プログラムの目的を明確にしキャリア教育の PDCA を推進

黒田　勉強でも教科外の活動でも目的を明確にして取り組んでいくことはとても重要だと感じています。特に、文部科学省がいう学力の３要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・多様性・協働性）を高めていくには、学校で取り組んでいるさまざまな活動が何を目的にしているのかを意識し、そのためにはどういうやり方でやったらいいのかを考えていく必要があります。そのために、本校ではキャリア教育のPDCA 化を進めています。進路指導委員会では、淑徳与野で身につけて欲しいことを「5 つの力」（図３）に集約し、さまざまな課外活動が、どの力の育成につながっているかをまとめました。同時に、高校入学時のインパクト体験に始まり、職業研究、研究小論文、ディベート大会などの総合学習を互いに関連付け、自分自身を見つめながら進路選択へとつなげていこうとしています。「点」で行っていたキャリア教育プログラムを「線」でつなげていく作業です。

高橋　PDCA（Plan Do Check Action）サイクルや MBO（Management by Objectives）などの用語は、もともとビジネスの世界から来ていますが、生徒が主体的に目標を達成するように行動するうえでとても重要なことだと思います。そこで大切なのが、先ほどの剣道部の話にもあった目標設定ですね。本気で挑戦してみたいと思うような目標設定ができれば、そこから主体性も創造力も自然と湧き出してきます。

黒田　たしかにそうですね。それがはっきりと成果に現れたのが、中学生全員が取り組む「創作・研究」でした（26 ページ参照）。高橋先生の助言を受けて実施の仕方を改めたところ、生徒たちの研究内容が格段にレベルアップしました。

高橋　「創作・研究」は思考力や表現力を育てるには絶好の機会です。生徒たちの成長につながる行事にするために大切にしたかったのは、本当にやりたいこと、知りたいテーマに取り

組むこと。そして、インターネットや書籍で調べるだけに終わらせず、世界で自分が初めて見つけ出した研究にするよう何度も繰り返して伝えていただきました。剣道への思い入れの強い剣道部の生徒たちが、どんなに苦しくてもがんばろうという気持ちを持続させられるように、どうしても知りたい、調べてみたいと思うようなテーマを見つけることができれば、生徒たちはもっともっと熱中して“研究”に取り組みます。私が大学で担当していたリーダーシップの授業でも、課題解決型学習（Project Based Learning）といって、企業から与えられた課題にグループで取り組むというものがあるのですが、どれだけ本当にやりたいテーマを見つけられるかで、学生たちの取り組み方がまったく違ってきます。

黒田　実際の取り組みをみてみると、好きなロックグループの曲の歌詞をすべて書き出して特徴を調べ上げた生徒や、マンガの名探偵コナンに登場する事件の「謎解き」が実際に可能なのか実験してみた生徒もいました。研究の方法も、自分で現場に行く、自分で試してみる、自分で作ってみるという風に、手足を動かして研究を進める生徒がとても多かったですね。「創作・研究」の発表の場でもある２月の「芸術研究発表会」は、発表を聞いているだけでワクワクしてくるような研究ばかりで、これまでにも増してすばらしいものになりました。

高橋　人は、自分が知りたいことややってみたいことに取り組むときは主体的で創造的になれますよね。そして、そうやって自分でいろいろな工夫を重ねていくことで力がついてくるとともに、学ぶことや成長することの楽しさに味を占めます。味を占めると、さらにいろんなことに挑戦しようとします。大学生を見ていても、授業のアシスタント、オープンキャンパスの手伝い、サークル、アルバイトと、さまざまなことに熱心に取り組んでいる学生は、そこからいろいろなことをどんどん吸収し、成長しているように感じます。

黒田　淑徳与野のキャリア教育も、そうありたいと考えて取り組んできましたが、近年の高校卒業生の進路決定の様子を見ていると、その成果が少しずつ表れているように感じます。端的に言うと、大学を偏差値だけで選ばない生徒が増えていること。たとえば、ある生徒は私立最難関の看護学科に合格しながら、「国境を越えて活躍したいから」と国際協力に力を入れる国立の大学校への進学を選びました。また、ある生徒は旧帝大に合格しながら、学部の垣根が低く複合的な学びの環境があると考えて都内の私立大学に進学しました。学力試験による一般入試での大学進学をめざしていると、どうしてもより偏差値の高い大学・学部に進学したいと考えるようになりがちですが、そうではなく、自分の学びたいこと、学ぶ環境、将来へのつながりを考えて進路選択をしているということです。

高橋　それはいい傾向ですね。どうしてそのように変化していったのですか？

黒田　毎年実施している卒業生インタビューで出てくるのは、中学におけるドリームワークショップ、インパクト体験棚卸し、高校１年の職業研究、高校２年の研究小論文などの取り組みをする中で、曖昧だった「夢」が、少しずつ形になり、次第に明確な「目標」となって見えてくるという流れです。特に高校２年の研究小論文は、本格的な大学受験準備に入る前に１年間かけて論文を執筆し、プレゼンテーションまで行うのですが、この時に、自分の関心のある分野、関心のある事柄について深く追究することで、考えを深めたり新しい発見をしたりする生徒が多いですね。

高橋　中学の「創作・研究」の高校版ですね。やりたいことに取り組むから主体的に行動し、創造的に考えることができる――。

黒田　そうです。大学入試においても、従来型の学力に加え、思考力や表現力が問われるようになりました。試験方式も、学校推薦型選抜や総合型選抜での募集割合が増えてきています。こういった入試方式では、小論文、面接、志望理由などが大切になってきますが、書き方・話し方のテクニックをいくら覚えても通用しません。その背景にある体験と、その体験に基づいてどれだけ自分の頭で考えたかということが生きてくるのです。

高橋　大学入試に限らず就職試験でも、学業成績だけでなく、それまでにどんな活動をしてきたかが問われるようになってきています。淑徳与野には、国際交流やキャリア教育のさまざまなプログラムがあり、成長につながる体験の機会には事欠きません。生徒たちが一つひとつの取り組みで「これをつかんだ」「こんな風に成長した」と自覚し、表現できるようになるといいと思います。私が接しているのは、生徒さんたちよりも、先生方の方が圧倒的に多いのですが、その先生方の熱意にいつも驚かされます。新しいことにどんどん挑戦して、ひとつずつ成果を上げていらっしゃると感じるからです。これからの淑徳与野の教育に、少しでもお力になれれば幸いです。

黒田　本日はありがとうございました。

たかはし・としゆき／一橋大学法学部卒、ミシガン大学ＭＢＡ。立教大学ビジネスリーダーシッププログラムのコースリーダー、早稲田大学グローバルエデュケーションセンターリーダーシップ開発プログラム（LDP）副統括責任者等を歴任し、長く学生や社会人のリーダーシップ教育に携わる。



1 教育方針

限りなく広がる大空のように、果てしなく続く大海原のように、生徒たちは誰もが無限の可能性を秘めています。淑徳与野中学・高等学校が掲げているキャッチフレーズ「動き出せ、私の未来。～ My Future is Now ～」は、生徒たちがその可能性を信じ、未来に向けて踏み出して欲しいという願いが込められています。

建学の精神・教育理念

● 進みゆく世に遅れるな、有為の人になれ

「進みゆく世に遅れるな、有為の人になれ」と言われて、校祖・輪島聞声先生は明治 25 年に淑徳女学校を創立しました。先生は仏教を通じて「静淑の徳」（深い知性と情緒に富んだ人間性）を持つ女性を養成することを建学の精神としていました。

以来 130 有余年、はじめはわずかの人数ではじまった淑徳は、いまや大学から幼稚園までの総合学園に発展しました。

そしてその発展に大きく寄与した学祖・長谷川良信先生は、仏教と教育、そして社会福祉を三位一体として邁進されました。良信先生の精神は「Not for him, Together with him」（彼のためにではなく、彼とともに）という言葉に集約されています。これは人に手を差し伸べることはもちろん、人を力づけることは自分も成長していくことであるという前向きな考えが示されています。これは、仏教で言うところの「自利利他」の精神であり、淑徳与野の教育理念そのものと言えます。

教育目標

● 高い品性を養う「心の教育」

合掌の習慣、仏教行事、「淑徳の時間」など、仏教主義に基づく情操教育によって思いやりの精神と謙虚な心、礼儀正しさや素直な心など、高い品性を備えた女性を育てます。また芸術鑑賞会や土曜講座を通して、女性としての教養を身に付けると同時に、女子校であることのメリットを生かし、学校行事、クラブ活動や生徒会活動などを通じてリーダーシップを養っていきます。

● 豊かな感性を養う「国際教育」

日本やアジア、そして世界を知るために、中学 2 年次に台湾への海外研修、3 年次に京都・奈良への修学旅行を実施し、高校 2 年次にはアメリカ・オレゴン州およびワシントン州への修学旅行を実施します。海外では、現地校との交流会やホームステイが組まれており、グローバルな体験により、豊かな感性を養うと同時に、勉学意欲を高める動機付けにもなっています。

● 輝く知性を養う「キャリア教育」「進学指導」

一人ひとりが持つ「夢」や「目標」の動機を掘り下げ、それぞれが実現したい社会を考えるなど、将来のビジョンを描くことからキャリア教育をスタートさせます。学習面では、中学校の段階から高校範囲に入る「先取り学習」を進めながら、少人数教育による手厚いサポートにより、ついていけない生徒が出ないようにフォロー。高校においては 150 種類を超える進学講座を設置するなど、塾や予備校などを利用しなくても受験準備ができる体制を整えています。

校 訓

清 純 常に身を清らかにし、汚（けが）れがなく、純情な心をもつ人であってください。

礼 節 誰に対しても節度をわきまえ、礼儀を尽くすことができる人であってください。

敬 虔 生きとし生けるすべてのものを敬い、謙虚な心を持った人であってください。

コース制・類型制

● 中学は2コース制、高校は類型制のクラス編成

中学校は、医学部、薬学部や超難関理系学部への進学をめざす「医科学進学コース」と、文系・理系を問わず難関大学をめざす「特別進学コース」の２コース制を採用しています。入学時にコースを選択しますが、進級時にコースを変更することも可能です。

高校は志望進路に合わせてクラス編成を行う類型制を採用しており、一貫生は高校進級時に類型を選びます。高校の類型制も固定的なものではなく、本人の希望と成績を考慮して、コース変更、類型変更することも可能です。

中学校１年	中学校２年	中学校３年	高校１年	高校２年	高校３年

コース制
― 学年進級時にコース変更可 ―

医科学進学コース
医学部、薬学部や超難関理系学部への進学をめざす。

特別進学コース
文系・理系を問わず、
国公立大学・難関私立大学への進学をめざす。

高校進級時に類型を選択

類型制
― ２年進級時に類型変更可 ―

T 類（理）難関国公立大学理系コース
難関国立 10 大学の理系学部や
国公立大学の医学部をめざす。

T 類（文） 難関国公立大学文系コース
難関国立 10 大学および
難関国公私立大学の文系学部をめざす。

SS 類　難関理系大学コース
国公立大学および難関私立大学の理系学部をめざすコース。
５科型受験、３科型受験のどちらにも対応できる。

SA 類　難関文系大学コース
国公立大学および難関私立大学の文系学部をめざすコース。
５科型受験、３科型受験のどちらにも対応できる。

中学校課程の授業 → 高校課程の授業 → 入試問題演習中心の授業

中・高の連携

● 校舎

中学校と高等学校は同じ敷地内にありますが、校舎は分かれており、シアター、利行堂、カフェテリア、体育館などの一部施設を共用しています。



● 生徒会・クラブ活動

生徒会やクラブ活動は原則として中高合同の組織になっています。ただし、中学生と高校生の体力差などを考慮し、練習を別々に行っているクラブや、中学生が入部できないクラブもあります。また、中学生のクラブ活動は週３回までの活動を原則にしています。



● 行事

入学式、卒業式は中学校と高等学校が別々に行っています。中学校卒業後はほぼ全員が本校の高等学校に進学しますが、義務教育修了の証として、中学校の卒業式も行います。年４回の仏教行事や６月に行われる「淑煌祭（文化祭）」は中高合同開催となっています。



2 学習・進学指導について

1 中高一貫の学習指導

本校では、主体的に人生を切り拓き、リーダーシップを発揮して社会に貢献できるような人材の育成をめざした学習指導・進学指導を行っています。４年制大学への高い現役合格率を維持してきた実績を基礎に、大学入試改革にも柔軟に対応できるような受験対策にも取り組んでいます。

中高一貫　進路指導計画の流れ

中学校１年	中学校２年	中学校３年
実力養成期		実力充実・発展期
ドリームワークショップ 職業研究・職業インタビュー 「創作・研究」制作・発表	インパクト体験棚卸し 職業体験 「創作・研究」制作・発表	私の Road Map 大学キャンパス見学 高校進学のための面談 「創作・研究」制作・発表
中学校課程の授業		

5 ステージ制による一年間の指導計画

第１ステージ【適応】	第２ステージ【挑戦】	第３ステージ【確立】	第４ステージ【変革】	第５ステージ【未来】
・二者面談※ ・学力推移調査 ☆ステージサポート	☆ステージサポート ・夏季特別指導（前期） ・三者面談 ☆ベーシック講座 〈1 年〉 ・職業研究・職業インタビュー 〈2 年〉 ・職業体験 〈2･3 年〉 ★英語・数学ハイレベル講座 〈3 年〉 ・内部進学ガイダンス ・大学キャンパス見学	・夏季特別指導（後期） ☆ステージサポート ・学力推移調査 ★駿台全国模試	☆ステージサポート ☆ベーシック講座 〈2･3 年〉 ★英語・数学ハイレベル講座	・冬季特別指導 ・「創作・研究」発表 ・アドバンストテスト 〈1･2 年〉 ☆ステージサポート ☆ベーシック講座 〈3 年〉 ★東大模試 ・校内実力テスト ☆内部進学サポート

☆ 指名された対象者のみ
★ 希望者のみ
※ 二者面談は第２ステージ以降も適宜行っています。

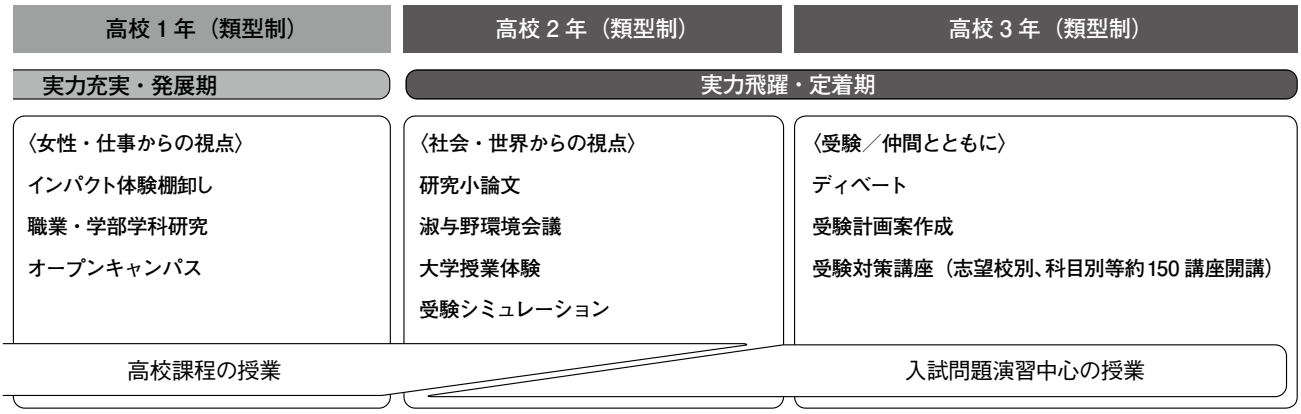
各ステージでの学習指導

予習 → 授業 → 復習 → 小テスト

▶ PDCAシート・生活の記録 ▶ 定期考査 ▶ ステップアップレポート ▶ ☆ステージサポート ▶ 二者・三者面談

長期休暇中の学習指導

▶ 夏季・冬季特別指導 ☆ベーシック講座 ★ハイレベル講座



●能動的な学びの姿勢と新しい大学入試制度

本校は、予備校や塾に通わなくても全生徒が難関国公立大学・私立大学へ現役で進学できるようにきめ細かな指導体制を整え、さまざまな特別講座を開講して学力向上をめざしています。

中学校の段階では、生徒たちの能動的な学びの姿勢を育むキャリア教育に力を注いでいます。入学直後のオリエンテーション合宿における「ドリームワークショップ」に始まり、自分自身の行動や考え方に影響を与えた過去の体験を振り返り、その経験から応援したい人や実現したい社会を考える「インパクト体験棚卸し」など、アクティブラーニングの手法を用いて生徒たちがお互いの夢や目標を共有しながら切磋琢磨する風土を育んでいます。

また、中学校における「創作・研究」や「職業体験」、高等学校における「研究小論文」「ディベート」などのプログラムを通じて、思考力・判断力・表現力を涵養し、一般選抜だけでなく、学校推薦型選抜、総合型選抜などの多様な大学入試にも対応できる教育を行っています。

●５ステージ制できめ細かな学習指導

本校では丁寧な指導によって基礎学力の向上を図るために５ステージ制を採用しています。各ステージにおいては、教科ごとにこまめに小テストを行ったり、ノートをチェックしたりして、予習・復習の習慣を身につけます。また、「MY PLAN」というシステムを使って PDCA サイクルによる学習計画、自己評価、振り返りを行うことで、主体的な学習姿勢を身につけます。

定期考査で日ごろの努力が成績に反映しなかった場合には、対象となる生徒を集めて補習授業や個別指導を行う「ステージサポート」を実施します。各ステージごとにサポートを行い、学習進度に遅れる生徒が出ないようにしています。

夏季休暇および冬季休暇中には、全員参加の「特別指導」、生徒を指名したうえで参加者を募る「ベーシック講座」、希望者を対象により高いレベルの発展・応用問題演習を行う「ハイレベル講座」を開講します。

なお、高等学校においては放課後や土曜日を利用して、志望校別の受験対策講座、論文対策講座など多くの講座が用意されており、生徒たちはそれぞれの志望大学に合わせて利用しています。

2 ② カリキュラム

6年間の一貫教育カリキュラムを用意し、中学3年次から段階的に高校の教育レベルの内容に移行していきます。高校では1年次修了までは共通カリキュラムで学びますが、2年進級時に進路希望に合わせて「類型制」のクラス編成を行い、それぞれの目標に合わせたカリキュラムで授業を行います。

中学カリキュラム

	中1		中2		中3		合計
国　語	5 (4)	国語A 3 国語B 2	5 (4)	国語A 3 国語B 2	5 (3)	国語A 3 国語B 2	15 (11)
社　会	4 (3)	総合地理 2 総合歴史 2	4 (3)	総合地理 2 総合歴史 2	5 (4)	高校現代社会・世界史 5	13 (10)
数　学※	6 (4)	数学1（代数幾何）	5 (3)	数学2（代数幾何）	6 (4)	数学3（高校範囲）	17 (11)
理　科	4 (3)	物理・化学 2 生物・地学 2	5 (4)	物理・化学 3 生物・地学 2	4 (4)	高校化学 2 高校生物 2	13 (11)
英　語※	6 (4)	英語 5 オーラル 1	6 (4)	英語 5 オーラル 1	6 (4)	英語 5 オーラル 1	18 (12)
音　楽	1.3		1		1		3.3
美　術	1.3		1		1		3.3
保健体育	3		3		3		9
技術・家庭	2		2		1		5
淑徳の時間（道徳）	1		1		1		3
HR・特別活動	2		2		2		6
合　計	35.6		35		35		105.6
創作・研究	5月～翌年2月（発表会）		5月～翌年2月（発表会）		5月～翌年2月（発表会）		
特別指導	夏季・冬季（計17日間）		夏季・冬季（計17日間）		夏季・冬季（計17日間）		
フィールドワーク	職業インタビュー		職場体験		大学キャンパス見学		

※数学・英語は中高一貫校用テキストを用いており、随時高校の内容が入ります。
※英語は週1時間、ネイティブスピーカーまたはオンラインでのオーラルコミュニケーション（英会話）の授業を実施し、4技能（聞く・話す・読む・書く）の向上を図ります。
※（　）は学習指導要領の定める標準時間です。なお、上記は現行のカリキュラムを元に作成しています。

時間割例（中1）

	月	火	水	木	金	土
1限	国語A	数学1	数学1	保健体育	国語B	土曜講座（実験・探究）
2限	数学1	英語	英語	生物・地学	総合歴史	
3限	数学1	物理・化学	総合地理	数学1	物理・化学	
4限	英語	淑徳の時間	保健体育	オーラルコミュニケーション	美術	
5限	生物・地学	技術・家庭	国語A	総合地理	英語	―
6限	総合歴史	技術・家庭	音楽	英語	数学1	―
7限	保健体育	国語B	道徳	国語A	LHR	―

※土曜日は、ほぼ隔週の割合（年間8回／14回）で土曜講座を実施。1講座60～90分で、中1生はお茶の水女子大学理科実験講座（医科学進学コース）を8回、またはグローバル探究講座（特別進学コース）を14回受講します。中2生、中3生は教養的な講座と教科学習的な講座を1講座ずつ14回受講します。（27ページ参照）

高等学校カリキュラム（予定）

教科	科目	標準単位数	履修単位								
			1年次	2年次				3年次			
			類型共通	理系		文系		理系		文系	
				T	SS	T	SA	T	SS	T	SA
				国公立型	国公立型 私立型	国公立型	国公立型 私立型	国公立型	国公立型 私立型	国公立型	国公立型 私立型
国語	現代の国語	2	2								
	言語文化	2	2								
	論理国語	4		2	2	3	3 2	1	1		
	古典探求	4		2	❷	3	3 ❷	2	❷		
	現代文演習									3	3 ❷
	古典演習									2	2 2
地歴	地理総合	2	2								
	歴史総合	2	2								
	日本史探究	3				⑥	⑥				
	世界史探究	3				⑥	⑥				
	日本史演習									⑧	⑧
	世界史演習									⑧	⑧
公民	公共	2		2	2	2	2				
	公民演習							2	2	2	2
数学	数学Ⅰ	3	4								
	数学Ⅱ	4		4	4	3	3			2	2
	数学Ⅲ	3						4	4		
	数学A	2	2								
	数学B	2		3	3	2	❷				
	数学C	2						3	3	2	2
	数学演習				❷				❷		
理科	化学基礎	2	2								
	化学	4		4	4						
	物理基礎	2	2								
	物理	4		④	④						
	生物基礎	2	2								
	生物	4		④	④						
	化学演習							5	5 1		
	物理演習							⑤	⑤ 1		
	生物演習							⑤	⑤ 1		
	理科総合演習（化学・生物）					2	2			2	❷
保体	体育	7	2	2	2	2	2	3	3	3	3
	保健	2	1	1	1	1	1				
芸術	音楽Ⅰ	2	②								
	美術Ⅰ	2	②								
	書道Ⅰ	2	②								
英語	英語コミュニケーションⅠ	3	3								
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4	4	4				
	英語読解	4						4	4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	3								
	論理・表現Ⅱ	2		3	3	3	3				
	英語総合	2						3	3	4	4
	英語演習						3				2
家庭	家庭基礎	2		2	2	2	2				
情報	情報Ⅰ	2	2								
総合的な探究の時間		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
特別活動	淑徳の時間							1	1	1	1
	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1
総単位			35	35	35	35	35	35	35	35	35

※高校1年までは共通のカリキュラム。高校2年進級時に類型を選択します。
※表中の○□●■印は選択授業です。
※上記は 2026 年度の実績に基づく予定で今後変更になる場合があります。

中 学 校

学年の授業のはじめには詳細なシラバス（授業計画表）を配布します。

教科	実力養成期		実力充実・発展期
	中学１年	中学２年	中学３年
英　語	**英語⑥** be 動詞、一般動詞、can の文、現在進行形、過去形、過去進行形、未来の文、助動詞、There is ～の文、比較	**英語⑥** 接続詞、不定詞、動名詞、基本文型、現在完了、受動態、分詞、関係代名詞、間接疑問、付加疑問、仮定法過去	**英語⑥** 時制、助動詞、使役動詞・知覚動詞、関係副詞、分詞、分詞構文、仮定法、否定表現、名詞、冠詞、代名詞、前置詞
数　学	**数学⑥** 正の数、負の数、文字の式、方程式、不等式、平面図形、空間図形、式の計算、連立方程式、図形と合同、１次関数	**数学⑤** 平方根、２次方程式、関数、図形と相似、円の性質、三平方の定理、確率と標本調査、資料の整理と活用 **数学Ⅰ** 数と式	**数学⑥** **数学Ⅰ、A、Ⅱ** ２次関数とグラフ、三角比、集合と命題、場合の数と確率、データの分析、式と証明、複素数と方程式、図形と式
国　語	**現代文③** **小説** 登場人物の心理の追い方を学ぶ・構成上の特徴や工夫を理解する **説明文** 構成から論理展開を整理する **表現**（感想文の書き方・論理的な文章の書き方）	**現代文③** **小説** 登場人物の心理の追い方を学ぶ・構成上の特徴や工夫を理解する **説明文** 構成から論理展開を整理する **表現**（スピーチ・プレゼンテーションの仕方）	**現代文③** **小説** 人物・場所・時・出来事などの物語内容と視点・語り口などの表現技法を整理して読解する **評論** 二項対立、対比的読み方を習得する **表現**（小論文の書き方、ディベート）
	ことばの学習① 口語文法	**ことばの学習①** 文語文法Ⅰ（用言・音便）	**ことばの学習①** 文語文法Ⅱ（助動詞）
	古典① 百人一首、古文入門	**古典①** 百人一首、古文の基礎	**古典①** 古文の読解、漢文入門
理　科	**物理・化学②** 身近な物理現象、身の回りの物質、電流とその利用、運動の規則性	**物理・化学③** 科学技術と人間、化学変化と原子・分子、運動とエネルギー	**化学②** 物質の構成、物質の変化
	生物・地学② 植物の世界、大地の変化、動物の世界	**生物・地学②** 天気とその変化、地球と宇宙、生物の細胞と生殖、自然と人間	**生物②** 生物と遺伝子、生物の体内環境の維持、生物の多様性と生態系
社　会	**総合歴史②** 江戸時代までの歴史	**総合歴史②** 江戸時代以降、現代までの歴史	**近現代史③** 国際社会、第一次世界大戦以降の歴史、環境・エネルギー問題、演習（中学３年間総復習）
	総合地理② 日本の諸地域、日本の地域的特色、世界と日本の姿	**総合地理②** 世界の諸地域、世界各地の生活と環境	**現代社会②** 日本国憲法、政治、経済、平和主義

※○数字：単位数。今後変更する場合もあります。

高等学校

教科	実力充実・発展期	実力飛躍・定着期			
	高校１年	高校２年		高校３年	
英　語	仮定法過去・過去完了、関係代名詞非制限用法、強調構文、仮定法現在、倒置、譲歩、完了形の分詞構文、独立分詞構文、完了不定詞、進行形の受身、完了動名詞	英文法の総復習（英作文を中心に）、大学入試問題演習		文	入試対策総合演習
				理	入試対策総合演習
数　学	**数学Ⅱ・B・C** 三角関数、指数関数と対数関数、微分と積分、数列、統計的な推測、平面ベクトル、空間ベクトル	文	**数Ⅰ・A・Ⅱ・B・C** のまとめ、総合演習	文	入試対策総合演習
		理	**数学Ⅲ・C** 極限、微分法、積分法、平面上の曲線と複素数平面	理	入試対策総合演習
国　語	**現代文・文学的文章** 分析的な読み方に習熟する。要注意の表現に気づく。 **評論** 読むために必要な概念を学ぶ（構造主義・記号・近代・自己と他者）。文章構造を意識して読む（対比や論理展開）。	**現代文・文学的文章** 文化的・社会的背景をふまえ、文語文も含む近代小説を読む。特徴的な表現に着目して読解する。 **評論** 読むために必要な概念を学ぶ（身体論・グローバリゼーション・ポストモダン・時間論・言語論）抽象的な思考の訓練をする。		文	**現代文** 習得した基本概念や、文章構造・重要語を駆使して、答案に反映する。多様なテーマに適応する。 **古典** 習得した文法や重要語を手掛かりに文章を読解し、正解を導き出す訓練をする。古典の文章を構造的に読む演習を行う。
	表現 論理トレーニングを進める。的確な文章表現の訓練をする。	**表現** 必要な要素を盛り込んだ記述答案を書く訓練をする。基本的な型に則った小論文を書けるようにする。			**表現** 受験小論文に本格的に取り組む。多様なテーマについて論じられるようにする。
	古文 中古・中世の作品中心の読解、文語文法Ⅲ（語の識別・敬語・助詞） **漢文** 短文や短編を使用して、漢文句形に習熟する。	**古文** 中古～近世の作品読解・探究、文語文法錬成を行う。（源氏物語・江戸期の文章）和歌の鑑賞、和歌修辞技巧等の学習 **漢文** 句形・重要語を適用して文章を読む訓練を行う。		理	**現代文** 習得した基本概念や、文章構造・重要語を駆使して、根拠を持って正解を導き出す。 **古文** 習得した文法や重要語を手掛かりに文章を読解し、正解を導き出す訓練をする。
理　科	**生物基礎** 生物の環境応答（動物の反応と行動、植物の環境応答） **物理基礎** 力と運動、運動とエネルギー **化学基礎** 無機物質、物質の状態	文	**生物基礎** 基礎内容の復習 **化学基礎** 基礎内容の復習	文	**生物基礎** 入試対策総合演習 **化学基礎** 入試対策総合演習
		理	**化学** 物質の変化、有機化合物、生命と物質 **〈物理〉** 波動、熱力学、電気と磁気 **〈生物〉** 生物の進化と系統、生命現象と物質、生殖と発生、生態と環境	理	**化学** 入試対策総合演習 **〈物理〉** 入試対策総合演習 **〈生物〉** 入試対策総合演習
地　理 歴　史 ・ 公　民	**歴史総合** 日本と世界の近現代史を題材に近代社会の諸原理、グローバル化の進展とその影響を探求 **地理総合** GIS（地理情報システム）を用いた現代世界の理解、世界地理と国際協力、持続可能な地域づくり（防災含む）	文	**〈世界史〉** 先史、古代、中世・近世中国史、イスラーム史、中世・近世・近代欧米史 **〈日本史〉** 原始・古代、中世（鎌倉幕府～戦国時代）、近世（織豊政権～明治新政府の樹立） **公共** 公共の扉、日本の政治、国際政治、経済と社会	文	**〈世界史〉** 近現代史、戦後史、入試対策総合演習（国公立２次・私大論述対策含む） **〈日本史〉** 近現代史、戦後史、入試対策総合演習（国公立２次・私大論述対策含む） **公民演習** 入試対策総合演習
		理	**公共** 公共の扉、日本の政治、国際政治、経済と社会	理	**公民演習** 入試対策総合演習

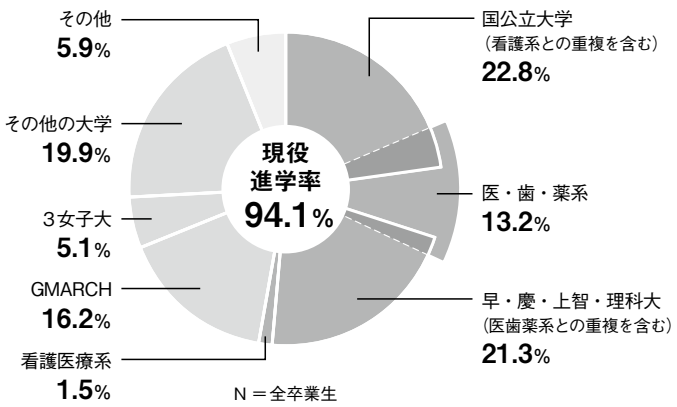
※〈 〉印：選択授業。高校の単位数は前ページのカリキュラムを参照してください。今後変更する場合もあります。

2 ④ 進学実績

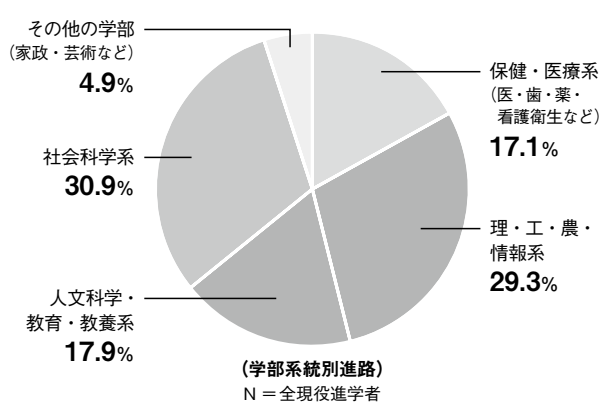
淑徳与野中学・高等学校は一人ひとりの希望と適性に合わせたオーダーメイドの大学受験を実現しています。クラブ活動や課外活動で活躍した生徒や自己表現・プレゼンテーション能力に長けた生徒は、学校推薦型や総合型選抜（AO 入試）、総合的な学力が高い人は一般入試の５科目受験、得意科目が突出している人は一般入試の３科目受験というように、それぞれの適性を生かした受験方法で、ほとんどの人が志望校合格を果たしました。

中高一貫生卒業後の進路 ※ 2026 年 3 月卒業生実績　2026 年 4 月現在

●進路の内訳（実際の進学先）



●学部系統別進路



＜中高一貫生の主要大学合格者数＞　（　）内は過年度生で内数

国公立大学合格者数				
大学名	2026	2025	2024	2023
東京大学	1			
一橋大学	1	1		
北海道大学	1	1	2	
東北大学	1	2		1
名古屋大学	1			
大阪大学	1		1	1
九州大学		1	1	
神戸大学	1	1		
筑波大学	2			1
お茶の水女子大学	3		2	1
東京藝術大学		1(1)		1
東京外国語大学	3			
東京農工大学	1	1	2	3
東京海洋大学	1(1)	1		1
東京学芸大学	1		1	1
信州大学	3	1	1	
宇都宮大学	1			
千葉大学	2(1)	1		5
埼玉大学	3	3		
横浜国立大学	1		1	
横浜市立大学				1
国際教養大学	1			
東京都立大学	1		1	2
埼玉県立大学				1
防衛医科大学校			2	2
防衛大学校			3	1
国立看護大学校			2	
水産大学校	1		1	
その他	6(1)	2	3	4
国公立大学合計	37(3)	16(1)	23	26

私立大学合格者数				
大学名	2026	2025	2024	2023
早稲田大学	32(1)	10	13	22
慶應義塾大学	13	8	9	4
上智大学	33	15	19(2)	29
東京理科大学	40(2)	27	27	34
早慶上理 計	118(3)	60	68(2)	89
明治大学	38(1)	17	36	39
立教大学	58	15	35(1)	55(2)
青山学院大学	15(1)	7	10	9
学習院大学	18(1)	1	10	10
中央大学	28	7	23	12
法政大学	25(3)	23(1)	17	25
GMARCH 計	182(6)	70(1)	131(1)	150(2)
津田塾大学	11	2	5(1)	4
東京女子大学	17	6	18	13(1)
日本女子大学	55	33(2)	38(1)	35(1)
3女子大計	83	41(2)	61(2)	52(2)
獨協大学	15			3
成蹊大学	9		4	4
成城大学	6(1)	1	1	6
東洋大学	14(1)	10	9(1)	11
日本大学	11(1)	2(1)	9(3)	20

医・歯・薬・獣医学部合格者数					
	2026		2025	2024	2023
医学部	信州大学３名 高知大学 山口大学 福島県立医科大学 杏林大学 近畿大学 国際医療福祉大学 埼玉医科大学 昭和大学 東海大学 北里大学 帝京大学 日本大学	23 (5)	20 (9)	6	14
薬学部	東北大学 慶應義塾大学 東京理科大学 北里大学 星薬科大学 昭和薬科大学 東京薬科大学 明治薬科大学 他	44 (5)	34	22 (3)	19
歯学部		—	1	—	2
獣医学部	帯広畜産大学 日本獣医生命科学大学 北里大学 麻布大学	5	—	5	—

4年間の進学率				
	2026	2025	2024	2023
卒業生数	136	104	108	112
4年制大学	93.4%	93.3%	93.5%	94.6%
短期大学	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
現役合計	94.1%	93.3%	93.5%	94.6%

MY FUTURE IS NOW

動き出せ、私の未来!

・卒業生 VOICE・

※先輩たちのインタビュー全編は、ホームページでご覧ください。
https://www.shukutoku.yono.saitama.jp/junior/features/graduates-voice/

●先輩たちの選択と大学受験



Y.U. さん

一般選抜｜東北大学 薬学部へ

完璧をめざしすぎない

一貫教育のメリットを生かし、先取り学習で演習時間を確保。勉強と課外活動を切り替えながら、焦らず受験に臨めました。



A.G. さん

一般選抜｜東京大学 文科Ⅲ類へ

6年間を自分の成長に

友人や先生との出会いに支えられ、部活動や委員会にも挑戦。毎日を自分の成長につなげていきました。



Y.K. さん

一般選抜｜お茶の水女子大学 理学部へ

研究小論文が進路選択の道しるべに

淑徳与野の面倒見の良い学習スタイルで基礎を固め、研究小論文で深めた関心を、志望学科選びにつなげました。



K.T. さん

一般選抜｜一橋大学 社会学部へ

多様な経験が社会学への関心に

国際交流や学校行事で広げた視野を、社会について考え、自分の進路を選ぶ力につなげました。



A.S. さん

一般選抜｜信州大学 医学部へ

学ぶ楽しさが力になった

知的好奇心を満たす学びを楽しみ、目の前の勉強に全力で取り組む姿勢が医学部合格につながりました。



M.K. さん

一般選抜｜大阪大学 経済学部へ

人として成長する受験を

友人への敬意や感謝を忘れずに過ごすことが、受験期の自分を支え、最後まで頑張る力になりました。



R.M. さん

一般選抜｜早稲田大学 先進理工学部へ

学校生活のすべてを力に

ダンス部や生徒会、英国短期語学研修にも挑戦。充実した学校生活を過ごしながら、受験に向けて学べる環境がありました。



R.O. さん

一般選抜｜東京外国語大学 国際社会学部へ

恩師との出会いが道を拓いた

世界史を教えてくださっていた恩師から平和を守る外交の大切さを学び、国際社会を学ぶ進路につながりました。



W.K. さん

一般選抜｜早稲田大学 文化構想学部へ

学びを深めるたくさんの出会い

普段の授業に加え、土曜講座や夏期講座などで多くの先生と出会い、学び方や考え方の幅を広げることができました。



M.T. さん

公募推薦｜国際教養大学 国際教養学部へ

世界と日本をつなぐ学びへ

インターナショナルプログラムで、世界から見た日本文化への関心を深め、国際的な環境で学びたいと思いが強くなりました。



M.O. さん

自主応募制推薦｜慶應義塾大学 文学部へ

中・高での経験が推薦入試に生きた

国際交流プログラムでの経験と、研究小論文やディベートで自分の考えを深めたことが、推薦入試での合格につながりました。



N.O. さん

海外大学｜ Bowdoin College (USA) 地球・海洋科学専攻へ

挑戦的な選択を重ねて海外へ

先生方の支援を受けながら学校内、学校外のさまざまなプログラムに参加して視野を広げ、米国大学への進学を実現しました。

[国語科]

本校で身につけさせたい国語の学力とは

一言で言えば「幅広い教養の基盤となる読解力と情報発信力」です。

本校では、大学入学以降も学ぶ力を伸ばし、社会人として真の教養や知恵を持って活躍できる人材の育成を目指しており、そのために必要な読解力と情報発信力を、6年間で生徒の皆さんに身につけてもらいたいと考えています。

特に、中学校段階で留意しているのは次の点です。

①ことばへの関心を深め、読解の基礎である正確なことばの知識を身につけること。

②ことばの意味を文脈の中で理解し、表現された内容を読み取る力を伸ばすこと。

③状況に応じて自分の考えを適切に伝える（ことばにする）方法を身につけること。

私たちは、ことばを使って意思の伝達をはかっているだけでなく、ことばによって思考し、その思考を深めています。このような「ことばの力」を身につけることが、やがては教科を越えて「状況を正しく捉える力」や、「将来をも見通す洞察力」に結びつきます。

入試問題について

❶ 入試問題作成にあたって特に留意したこと

＜ことばの正確な理解に裏打ちされた記述力をみる＞

まず、ことばの理解度を試す出題をしています。また、記述を苦にしない生徒、物事の本質を捉えて表現できる生徒を育てたいというのが本校国語科の方針ですので、その素質を見定めるような問題を出題しました。具体的には、

①漢字の書き取りでは、部首の持つ意味の理解を含め、注意力をもって正確に書く練習ができているかどうかを見る。

②語句の問題では、まず「辞書的な意味」をきちんとおさえたうえで、文脈に沿った意味を問う。

③読解問題では、設問が求めている答えを文章全体から導き出し、適切な表現ができているかどうかを見る。

記述力の養成は、言語に対する意識や洞察力を高め、精神的な粘り強さを培うことにもつながります。そのため小学校高学年から記述力をつけていく意義はきわめて大きいのです。

❷ 特に差がつき、合否のポイントになった問題とその解説

＜記述の問題＞

第一回・第二回ともに記述の問題が2題ずつ（各大問に1題、各 60 ～ 100 字程度）出題されています。部分点のある採点方式なので、指定字数の半分以上の解答を書く努力をしましょう。まず、傍線がどこに引いてあり、何を問われているか、設問の意図を把握します。そのうえで、必要な情報を本文から探し、それらの根拠をふまえて、自然な日本語になるように再構成して表現しましょう。安易に傍線の近くの内容を書く、本文をそのまま抜き出して切り貼りするような解答は、なかなか得点につながりません。

＜全体を読む＞

選択肢、抜き出し、記述いずれの問題でも、傍線の直前直後からではなく文章全体から考える問題で、合格者と不合格者の正答率に 20% 前後の差がついています。

小説でも評論でも傍線部だけを見て、一般的にありそうな内容の選択肢を選んでしまう誤答が目立ちます。本文の前後から傍線の言い換えや理由など根拠を探して、根拠に基づいて判断できるようになりましょう。

近年、評論では空欄補充の抜き出し問題が出題されています。本文を読むときは、繰り返し出てくるキーワードをおさえながら読む練習をしておけば、遠く離れた解答箇所も見つけやすくなるでしょう。

＜語句の意味をつかむ＞

毎年、語句の問題で差がついています。日頃から、きちんと辞書を引いて、正確な語句の意味や用法を理解することが必要です。本文の文脈から入りそうな意味を選ぶことのないようにしましょう。

＜漢字の意味を理解する＞

書き取り・読み・熟語の成り立ちの問題を出します。出題範囲は4級までです。近年、漢字の問題の正答率が低くなっています。漢字の形や読みを機械的に覚えるのではなく、漢字の意味を理解したうえで覚え、日頃から楷書で丁寧に書く練習をしてください。

❸ 受験生へのアドバイス

漢字・語句の基本的な勉強を日々積み重ねてください。また読解問題においては、自分の思い込みや一般的な常識をいったん捨てて、本文の根拠に基づいて判断する練習をしてください。記述問題は配点も高いので、白紙にすることなくチャレンジしましょう。過去問を解いたら、模範解答と比べ、自分の解答に足りない要素を確認したうえで、すべての要素を入れてよりよい解答に書き直す練習が有効です。

[算数・数学科]

本校で身につけさせたい数学の学力とは

中高一貫生は、6年後の大学入試においても数学を受験し、難関大学へ合格することを目標とします。そのために、公式に当てはめれば解ける、パターン化された問題ならば解けるという力だけではなく、数学的思考による問題解決が図れる力を伸ばしていきます。このような力を試す入試問題を出題しています。新設されて4年目となります「医科学進学コース」の入試については、これらの力をより高い精度で求められるような問題を出題しています。



入試問題について

1 入試問題作成にあたって特に留意したこと

上記の学力を育てることを踏まえ、以下の2点に留意して問題を作成しています。

①特殊な公式や解法を使う問題をできるだけ減らし、計算力、基本的事項を確認する問題を多く出題します。

②図形を動かす、立体を切る、条件を満たす何通りかの図形を探すなど、いろいろな角度から考察する問題を必ず出題します。また、論理的思考力・表現力を見るための問題も出題します。

2 特に差がつき、合否のポイントになった問題とその対策

下記は、今年度第1回入試における算数の総得点帯域と合格率、および大問ごとの平均点を表にしたものです。たとえば、総得点が90点以上だった受験生の大問1の平均点は19.3点（20点満点）です。

今回の平均点は52.0点でした。この表によると、算数が60点台の受験生は合格率が95%、50点台の受験生は合格率が84%である一方、40点台の受験生の合格率は64%となっています。5～6割を確実に得点できるかどうかが合否の分かれ目になったと言えるでしょう。

受験生全体で得点率の高い問題は大問1で、得点率の低い問題は大問4でした。合格者と不合格者で特に差がついた問題は大問5でした。

大問1は計算問題の小問集合で、合格者と不合格者の得点の差が小さい結果になりました。大問4は中学入試の問題集にも類題があるような商品の売り上げや利益に関する問題と、その応用問題が文章問題として出題されていました。定価や値引き後の値段、その売り上げ個数などを整理し、丁寧に計算することが求められる問題でした。

大問5はいくつかの円を並べた図形の周りを円が転がるときの、円の中心が通った後の線の長さを求める問題でした。問題文から状況を把握し図形を正確にイメージし、並べる円の数が増えたとき、転がる円の中心が通るあとがどのように変化するのかに気付けることがポイントでした。

第1回入試得点帯別大問別平均点

得点＼配点	大問1 20点	大問2 15点	大問3 22点	大問4 16点	大問5 16点	大問6 11点	合計点 100点	合格率	人数
90～100	19.3	14.5	21.3	11.2	15.5	11.0	92.8	91%	11人
80～89	17.0	13.8	19.4	9.7	13.9	9.5	83.2	94%	70人
70～79	15.6	12.5	17.6	8.5	11.9	8.1	74.2	99%	194人
60～69	15.0	11.2	15.8	6.8	9.1	6.4	64.3	95%	331人
50～59	14.2	10.2	14.3	5.4	6.6	3.9	54.5	84%	383人
40～49	12.6	8.2	12.2	4.3	4.2	3.0	44.5	64%	365人
30～39	11.6	6.2	9.5	3.4	2.5	1.6	34.8	29%	241人
20～29	10.2	3.9	7.3	1.7	0.8	0.8	24.7	11%	121人
10～19	7.2	1.1	4.8	0.8	0.5	0.3	14.7	3%	40人
0～9	3.2	1.0	1.2	1.0	0.0	0.0	6.4	0%	5人
全体	13.5	9.2	13.4	5.3	6.4	4.3	52.0	-	1761人
合格	14.4	10.4	14.8	6.1	7.8	5.2	58.7	-	1220人
不合格	11.7	6.6	10.0	3.5	3.0	2.2	37.0	-	541人

3 受験生へのアドバイス

基本問題を確実に得点するために、正確な計算力を身につけられるような練習をしておきましょう。平均得点率が高い問題だからこそ、ミスをすると大きな差が付きます。

過去に出題されている通り、図形の長さや面積、体積に関係する問題を多く出題しているのが本校の入試の特徴です。正確に素早く処理する計算力、基礎知識、論理的思考力を試す問題を出題します。医科学進学コース特別入試と第1回、第2回入試で大きな難易度の差はありませんが、医科学進学コース特別入試で合格するにはより高い精度で正解できることが求められています。過去問題を通じて、より一層丁寧に考える訓練をしておくとよいでしょう。

[社会科]

本校で身につけさせたい社会の学力とは

社会科は、覚えてしまえば得点があがるという暗記科目ではありません。本校では、暗記知識だけに頼ることなく、物事を多角的に見て、聴いて、考えるという「社会科的なものの見方」を身につけてもらいたいと考えています。すなわち、

①図表や地図などの資料（データ）を読み解く力

②これまで学んできた知識・教養をもとに、分からない問いの答えを想像する力

③世の中のしくみを把握し、社会で生じる課題に対する解決法を自ら見つける力

の３つです。以上の≪３つの力≫を育てるべく、日々指導にあたっています。

入試問題について

❶ 入試問題作成にあたって特に留意したこと

本校の入試問題においても、上記の≪３つの力≫をはかる問題を出題します。出題の傾向は以下の通りです。

・第１回入試・第２回入試ともに大問1が歴史、大問2が地理、大問3が公民中心の融合問題という形式になっています。

・解答形式は、単語（短文）の記述と記号選択の２通りです。

・時事問題を、毎回何らかの形で盛り込んでいます。

・2024 年度入試から、論述問題に代わるものとして、論理的思考力を測る問題を、他の問いよりもやや配点を高く設定して出題しています。

・難易度は、社会科の学力を正しく評価するために難問ばかりを出題するのではなく、標準的な難易度の問題が全体の半数となるようにしています。社会科の平均得点率は、毎年６割前後となっています。

❷ 今年度入試で特にポイントとなった問題は

第1回入試に関してポイントとなった問題をあげてみます。

まず、論理的思考力を測る問題についてです。地理・歴史・公民すべてで、複数のグラフや表、写真などを用いて解答にたどり着く問題が増加しました。以下、いくつか例を挙げて紹介します。

大問1の問３は、「鎌倉時代の文化」について資料読み取りによって解答する問題で、知識・教養をもとに、文章読解や論理思考などの力を総合的に試すものでした。概略として、以下のような思考過程となります。「火事から馬を守る」ための動物を考える→資料１は実際に動物がいる場所のヒントなので、この場所に居そうな動物を考える→資料2に「三合」と「火事が起きやすい組み合わせ」である「寅・午・戌」が示されている。→資料3から「寅・午・戌」の反対側にいる動物を見ると、「申・子・辰」があてはまる→解答ア～エのうち、あてはまる動物は「猿」である、という流れです。この問題の正答率は 69.9%と高く、しっかり解けた人も多かったようです。ただ、こうした論理思考を問う問題は、時間をかけすぎると他の問題に手が回らなくなってしまうかもしれません。日頃から地図やデータ、難しめの文章などに慣れておく必要がありそうです。

大問2の問４②は、京都市の伝統産業についての地図と、それをまとめた文章を読み、空欄にあてはまるよう短文をそれぞれ選択する問題でした。資料１は土地を横から見た図、資料２は土地を上から見た図になっています。資料２を見ると、桂川流域は扇状地とほとんど重なっていないので、扇状地とは異なる性質の土地であることが読み取れます。また、資料１の集落がある場所と、資料２の豆腐などの店の位置がほぼ一致しているところから、日常的に消費されている食べ物、という予想になります。頭の中で地形を三次元的にとらえた上で、さらにそこに住む人々の生活を想像する力も必要なため、正答率は 31.74%にとどまりました。

大問3の問７は、高度情報化社会に関する文章の正誤を判断する問題でした。正解にたどりつくためには、日頃から身の回りにある様々なことを観察し、与えられた選択肢への違和感を持てるようにしましょう。知らないことをきかれた時は、ただの知識問題だと思って運に任せず、自分なりに身の回りの出来事として言い換えられるかどうかが大切です。この問題の正答率は 24.99%であり、４択問題で４分の１が正解という結果になりました。

❸ 受験生へのアドバイス

本校の社会科入試問題の形式や傾向は、以上の通りです。2024 年度から問題傾向に変更がありましたが、標準的な難易度の問題も変わらず出題されるので、基礎知識を定着させることが大切です。各科目の重要用語や、時事で話題になっていることに関する知識を蓄えてください。

論理的思考力を測る問題は、提示されている情報を正確に読み取り、かつ、問われていることに合致した解答をすることが重要となります。本番では焦らずに、リード文や資料、問題文を読み込みましょう。一見すると難問であっても、提示されている情報の中に解法のヒントが必ず含まれています。問題数が多いため、時間配分に気をつけるとともに、集中して設問に取り組んで下さい。みなさんの健闘を祈ります。

[理 科]

本校で身につけさせたい理科の学力とは

中高一貫生は、6 年後の大学入試において文系・理系を問わず、全員が大学入学共通テストを受験するものと考え、先取り型のカリキュラムを組んでいます。高校 2 年生終了までに共通テストである程度、得点がとれる実力を身につけることを目標としています。そのためには、ただ単に受験のテクニックだけではなく、真の実力を身につける必要があります。中学・高等学校の 6 年間を通して、段階的に理科的見方・考え方を学習していきます。

その中で特に

①さまざまな視点から、正しく物事（動植物や自然現象）を観察する目（観察力）

②観察したものからその裏に秘めているものを見抜く目（洞察力）

③未知なものに接したときに、今までの観察や経験を通して理解しようとする力（想像力）

の3つの力を養い、今までの観察や経験した具体的な事柄を、さらに広げて他のものにもあてはめて考える力（抽象的概念の確立）、数字や表・グラフで未知なるものを予想する力（数理的思考力）を、身につけてほしいと考えています。また、医科学進学コースでは多くの実験を通して、仮説を立て、自分の持っている知識と技能を組み合わせて結果を考察する力や仮説を証明するための実験方法を計画する力を身につけてほしいと考えています。

入試問題について

1 入試問題作成にあたって特に留意したこと

2026 年度の入試では、理科を学習するために必要な基本的な幅広い知識、その知識をもとに更に応用的なことを考える推理力、さらにグラフや図などを見ながら分析し、計算を用いて答えを導く数理的思考力を問うような問題を作成しました。

『医科学進学コース特別入試』は単独で 50 分、第 1 回入試は昨年同様の理科・社会2教科合わせて 60 分 (第 2 回は 50 分) の試験時間となり、問題構成は大問4題です。

医科学進学コースは物化生地それぞれ大問1つずつ、第 1 回・2 回入試は物理、化学、生物、地学を織り交ぜた小問集合1題と物化生それぞれ大問1つずつの構成です。医科学進学コースは 100 点満点、第 1 回・2 回入試は 50 点満点です。

2 理科の入試問題の結果から

○第 1 回入試の受験者平均点は 26.9 点（50 点満点）です。

また、各大問の内容と配点、受験者平均点は以下の通りです。

第 1 回	大問1	大問2	大問3	大問4	合計
	小問集合※	化学分野	生物分野	物理分野	
配点	11 点	13 点	13 点	13 点	50 点
平均点	5.0 点	7.3 点	6.5 点	8.1 点	26.9 点

※物理・化学・生物・地学分野からそれぞれ出題

合格者と不合格者間で特に差がついた問題は、生物内容の大問3でした。例年は物理分野で得意不得意の差がはっきりと出るので、計算問題を中心に対策をしてきた受験者が増えた印象を受けました。また、実験系の問題も出題しました。実験内容を理解し、必要な情報をすぐに見つけ出せるような対策が必要です。昨今の高校・大学入試同様、中学入試でも数理的思考力、国語力が問われる問題が増えてきましたので、4科バランスのとれた学習を心掛けましょう。

○第2回入試の受験者平均点は 30.3 点（50 点満点）です。

各大問の内容と配点は以下の通りです。例年通り大問1の小問集合と大問4の物理分野の得点が伸びなかったようです。

第 2 回	大問1	大問2	大問3	大問4	合計
	小問集合※	化学分野	生物分野	物理分野	
配点	12 点	12 点	13 点	13 点	50 点
平均点	6.6 点	8.3 点	9.6 点	5.9 点	30.3 点

※物理・化学・生物・地学分野からそれぞれ出題

○医進特別入試の受験者平均点は 63.2 点（100 点満点）です。

各大問の内容と配点、受験者平均点は以下の通りです。物理、化学、生物、地学のバランスの取れた学習を心がけると良いでしょう。

医進入試	大問1	大問2	大問3	大問4	合計
	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野	
配点	25 点	25 点	25 点	25 点	100 点
平均点	15.4 点	15.2 点	16.4 点	16.2 点	63.2 点

3 受験生へのアドバイス

2027 年度第 1 回・2 回入試は例年同様の出題となります。第 1 回は理社合わせて 60 分、第 2 回は 50 分と解答時間が異なるので注意してください。特に事象の説明やグラフ作成、その分析など、思考力・判断力・表現力を問う問題が多く出題されます。全範囲について基本的なことを学び、理科の知識を豊かにし、日頃から正確に計算する習慣を身に付けるとともに、問題を解くときには、出題のねらいを考えて解く練習をすることで、深く考えることができるようになります。限られた分野にとどまらず、各分野の境界を越えた共通する事柄や考え方を学習し、理解の幅を拡げていくことが重要です。

医科学進学コース特別入試では、第1回、第2回との難易度の差はあまりありませんが、解答時間が長い分、問題量が多く、より深い知識と思考力が必要となります。図やグラフ、データの読み取り、実験考察から規則性や計算方法などを導く力をみるような問題が出題されます。たとえ習っていない内容が出題されても問題文から現象を理解することができる国語力も必要となります。論述問題は出題しませんので、第1回入試と比較すると、より計算力や判断力が重要となります。さまざまなタイプの過去問を解いて対策し、チャレンジしてください。

[英語科]

本校で身につけさせたい英語の学力とは

本校では、国際社会の中で通用する英語力を身に付けることを目標に日々授業を行っています。また真の国際人として異文化を理解できる人材の育成をめざし、将来海外でも広く活躍してほしいと考えています。卒業までに「読む」「書く」「聞く」「話す」、この４つの技能をバランスよく身に付け、相手の考えを理解でき、さらに英語を使って自分の考えを伝えられるようになることが最終目標です。

中学１年生では、アルファベットの学習から始め、英語の基礎となる文法事項を一から丁寧に学びます。学んだ内容を定着させるため、問題演習や授業用ノートで何度も英文を書き、発音しながら繰り返し練習することで、英語の基礎を確実に身に付けていきます。中学２年生では、中学英語文法の基礎固めをしっかりと行い、英語学習者向けの物語を活用した多読活動に取り組みます。英語を英語のまま理解する力を養いながら、年内に全員が英検３級を取得し、準２級合格をめざします。３年生では中学英語を振り返りつつ、発展的な内容に取り組み、英語で歴史や環境問題などの教材も読んでいきます。そして最終的には英検準２級・２級の取得をめざします。

中高一貫校用の教科書を基本として授業を行ないますが、さまざまな角度で英語にふれて、写真や映像教材も利用し、より実用的・実践的な英語を身に付けてほしいと考えています。さらに英語を学び使うことで、世界に向けて日本の文化や自分の考えを発信できる力を身に付けてほしいとも考えています。

英語科の取り組み

● 目標

1）自分の考えや日本のことを英語の自分の言葉で伝えられる

外国人の先生と英語でコミュニケーションできるようになること。最初は挨拶からはじまり、次第に、先生の話を理解したり、自分の考えや気持ちを英語で伝えられるようになることが目標です。

2）基本的な文法事項をしっかり定着させる

単語力と文法は英語力を高めるために欠かせません。また、大学受験を見据え、中学課程を２年間で学習し、３年の途中から高校課程へ。高校３年間では、難関大学の入試問題演習に専念できるカリキュラムを組んでいます。

3）英検２級に合格する

文部科学省が後援する「実用英語技能検定（英検）」を受検することは、英語力を測定する上で有効な方法です。本校では、中学2年で３級、中学3年で準２級、高校１年で2級合格を目標としています。

● 英語科の取り組み

1）家庭学習ノート

授業の復習や単語練習、問題集などを「自習ノート」に毎日学習し続けることで、英語の学習習慣を身につけます。

2）外国人講師による授業

クラスを半分に分け、教室でのネイティブの先生による少人数授業と、１対１のオンライン英会話を、隔週で行います。聞く力に加え、話す力を磨き、英語を使う自信を養います。

3）生きた教材

写真やビデオなどの生きた教材を利用し、英語に親しみながら４技能をバランスよく伸ばします。

4）昇級・昇段式　語彙力強化プログラム

「昇級・昇段式」の仕組みを導入して英単語テストを実施しています。生徒は自分の「級・段」を上げるべく、また友だち同士で競い合いながら自発的に取り組んでいます。

5）夏季・冬季特別指導

夏季・冬季の特別指導で、文法事項の定着を図り、中学１年次から長文読解にもチャレンジします。

6）英検対策ー ICT の活用と教員のサポートー

本校では、英検取得に向けたサポートにも力を入れています。授業や家庭学習では、オンライン英語４技能学習サービス「Weblio Study」を活用し、AI による Writing 添削やリスニング教材、ディクテーションなどを通して４技能を伸ばします。さらに、希望者を対象に英検対策講座を放課後に開講し、英語科教員が生徒一人ひとりの目標級合格に向けて丁寧にサポートしています。。

7）英国短期語学研修

中学３年の春休みに英国短期語学研修があります（希望者）。



英検「優良団体賞」を毎年のように受賞。


「オンライン英会話」。海外の人と英語で会話することに慣れていきます。

3 国際教育

視野を広げ、国際人としての自覚を高めるための国際教育に力を入れています。語学教育の面ではネイティブスピーカーによる英語の授業を取り入れ、オンラインによる1対1の英会話レッスンも実施しています。中学2年では台湾海外研修、高校2年ではホームステイを組み込んだアメリカ修学旅行。世界８カ国に姉妹校・提携校があり、中学・高校の６年間にさまざまな国際交流の機会を設けています。

●国際教育のコンセプト

英語を身につけたいという **意 欲** ／ 異文化経験による **自 信** ／ 世界の一員であるという **自 覚** ▶ **広い視野を持ち、世界で活躍できる国際人の育成**

視野を広げる国際教育プログラム

中学校

- 1年
- 2年
  - ★台湾に関する事前学習（中国語集中講座を含む）
  - 11月 ★台湾海外研修
- 3年
  - ★修学旅行事前学習
  - 11月 ★京都・奈良修学旅行
  - 春休み 英国短期語学研修（ロンドン郊外）

高等学校

- 1年
  - 10月 韓国国際交流プログラム（ソウル）
  - 1月 韓国姉妹校生徒来日
  - 春休み 英国短期語学研修（ロンドン郊外）／アメリカ短期語学研修（カリフォルニア州）
  - 1月～3月：インターナショナルプログラム（3カ月語学研修）
- 2年
  - 9月 ★アメリカ修学旅行（オレゴン州・ワシントン州）6泊8日
- 3年

★印は全員参加の行事です。

中学2年 台湾海外研修（全員参加）

中学２年次に行われる台湾海外研修では、台北市内にある姉妹校、静修高級中学を訪れます。現地の生徒と触れ合うことで、言葉の壁を超えた交流を経験します。



中学3年 英国短期語学研修（希望者）

春休みに行われる語学研修は、約２週間、現地の家庭にホームステイ。お互いの文化・習慣の違いを知ることによって、異文化への関心を高めると同時に、語学に対する学習動機・意欲の向上へとつなげます。



高校1年 インターナショナルプログラム（希望者）

高校進学時に希望すれば、3カ月間の海外語学研修を組み込んだインターナショナルプログラムに参加することができます。所属するクラスは他の中高一貫生と同じです。



高校2年 アメリカ修学旅行（全員参加）

高校２年次に行われるアメリカ修学旅行では、オレゴン州・ワシントン州を訪問。生徒全員が３泊４日のホームステイを体験します。



4 学校生活について

1年間を5つに区切った「5ステージ通年制」を採用しています。それぞれのステージに目標を置いて勉学に励むと同時に、さまざまな学校行事を配分することで、メリハリのある学校生活を送ることができます。

生活時間

※中学と高校は同一時間帯です。

授業　時間割	
朝の読書	8:30 ～ 8:40
1時限目	8:45 ～ 9:30
2時限目	9:40 ～ 10:25
3時限目	10:35 ～ 11:20
4時限目	11:30 ～ 12:15
昼休み	12:15 ～ 12:55
SHR	12:55 ～ 13:05
5時限目	13:10 ～ 13:55
6時限目	14:05 ～ 14:50
7時限目	15:00 ～ 15:45
SHR・清掃	15:50 ～
下　校	17:30（高校 18:00）

定期考査　時間割	
点　呼	8:30 ～ 8:35
1時限目	8:45 ～ 9:35
2時限目	9:50 ～ 10:40
3時限目	10:55 ～ 11:45
4時限目	12:00 ～ 12:50
下　校	16:00

土曜講座　時間割	
1時限目	9:00 ～ 10:30
2時限目	10:45 ～ 12:15
下　校	17:30

- 朝は8時30分までに教室に着席。「朝の読書」等を10分間実施しています。
- 昼食は基本的にお弁当です。ただし週1～2日給食を実施しています。
  また、高校校舎にはカフェテリアがあり、売店では軽食も販売しています。
- 下校時間は年間を通して中学生は17時30分（自習は18時まで）、高校生は18時（自習は19時まで）です。
- 土曜講座は年間8回または14回実施しています。

制　服

2027年度から制服が新しくなります。上着はブレザー型になり、ボタンを付け替えることで中学・高校兼用で着用できます。スカートとリボンの代わりに、スラックスとネクタイ着用も選択できます。指定された仏教行事以外はセーターでも登校できます。夏服は薄い水色の柄が入ったブラウスの上にベストを着用するか、ポロシャツで登校することもできます。


冬服


正装


夏服

中学校の主な年間行事予定

第1ステージ 4月 〜 5月	始業式
	入学式
	新入生オリエンテーション合宿（1年生）2泊3日
	花まつり
	保護者会
	第1回定期考査
第2ステージ 6月 〜 7月	英語検定（1次）、漢字検定
	淑煌祭
	第2回定期考査
	み魂まつり
	保護者会
	夏季特別指導（前期）
	三者面談（夏季休暇中も含む）
夏季休暇 7月下旬〜8月中旬	8月上旬　2・3年英数ハイレベル講座
第3ステージ 9月 〜 10月	夏季特別指導（後期）
	なでしこ発表会
	英語検定（1次）
	授業公開
	第3回定期考査
第4ステージ 11月 〜 12月	スポーツ大会
	成道会・創立記念式典
	台湾海外研修（2年生）3泊4日
	京都・奈良修学旅行（3年生）3泊4日
	第4回定期考査
	保護者会
冬季休暇 12月下旬〜1月上旬	12月中旬　2・3年英数ハイレベル講座
第5ステージ 1月 〜 3月	冬季特別指導
	ねはん会
	芸術研究発表会・合唱祭
	学年末考査
	中学卒業式・終業式
春季休暇 3月下旬〜4月上旬	3月下旬　英国短期語学研修（3年生希望者）

※この他、芸術鑑賞教室を中学全学年合同で実施しています。
※行事は年度によって変更することがあります。

仏教行事

仏教行事は、お釈迦さまの誕生日（花まつり）、悟りを開かれた日（成道会）、入滅された日（ねはん会）、そしていわゆるお盆の日（み魂（たま）まつり）に行う行事です。そこでは仏教について学び、さらに「法楽」として講演を聞いたり、舞台芸術などを鑑賞したりします。



［花まつり］
花まつりでは、誕生した姿のお釈迦さまの像に「甘茶」をかけてお祝いします。



［法楽］
仏教行事では、法要の後に芸術を鑑賞したり、講演を聴いたりする「法楽」の時間があります。写真はみ魂祭りでの法楽の様子。



［淑徳の時間］
週に1度の授業、「淑徳の時間」では、人としてどう生きるべきか、社会とどうかかわっていくべきかなど、これからの進路選択に役立つ「心の教育」を行っています。

4

宿泊を伴う行事・体験学習について

中学校では、各学年に1回ずつ、宿泊を伴う校外学習を設けています。また、体験学習や、芸術鑑賞教室等も実施します。

中学１年　新入生オリエンテーション合宿（２泊３日）

新入生だけで出かける合宿研修。中学校生活を送るためのオリエンテーションと、クラスのレクリエーションを行います。



▶お互いの「夢」について語り合う「ドリームワークショップ」



▲研修場所は河口湖。富士山をバックに朝の体操が気持ちいい。

▼富士山麓の青木ヶ原樹海散策や洞窟探検にも挑戦します。



中学２年　台湾海外研修（３泊４日）

台湾北部の台北市内観光と、世界的に有名な故宮博物院の宝物を見学。一番のイベントは姉妹校である靜修高級中学の訪問。互いに合唱やダンスを披露する交歓会の後、ペアとなった現地生徒と一緒にキャンパスツアーをします。英語、中国語、日本語とジェスチャーを駆使してコミュニケーションを試みつつ交流を深めます。

▼姉妹校での交流





▲九份

中学３年　京都・奈良修学旅行（３泊４日）

神社仏閣を訪ね、日本の古き良き伝統文化を学びます。さらに、浄土宗総本山知恩院にある校祖輪島聞声先生の墓参も行い、建学の精神を改めて学ぶとともに、日本の歴史や文化に精通することをめざします。



▶浄土宗の総本山・知恩院には、本校の校祖輪島聞声先生のお墓があります。



▲仏教の歴史や考え方を学んでいるので、お寺や仏像を見るときにも、本校の生徒ならではの見方・考え方ができます。

▼舞妓さんとの交流もあります。



中学２・３年　体験学習

８月の夏季休暇の期間を利用して、２年生は職業体験、３年生は大学キャンパス見学を実施しています。職業体験は自分で行ってみたい職場を探して申し込みます。例年利用している職場で体験することもできます。

▼体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」での職業体験。





▲中３の夏休みに行われた大学のキャンパス見学で、毎年先輩が進学している慶應義塾大学にいきました。

「創作・研究」について

本校では、年間を通して取り組む課題として、授業のほかに「創作･研究」の時間を設定しています。2023 年度から少しリニューアルして、３年間かけて「自分のテーマ」探しをすることと、そのテーマについてまとめたり伝えたりすることを主眼としています。

このテーマは高校の「研究小論文」や進路選択につながるものです。生徒全員が先生方から指導を受けながら、テーマ探しの方法や発表のし方を学ぶとともに、グループ活動を通した交流の場で興味関心の幅を広げていきます。また、任意参加の「作品創作」「実験研究」による校内コンクールも実施、二つの「創作・研究」の成果は２月の芸術研究発表会で発表します。

創作研究の流れ

		中学１年	中学２年	中学３年
学年ごとの目的		新しい世界に目を向け、「自分の発見」を伝える。	自分の関心分野について探究し、「自分のテーマの面白さ」を伝える。	自分の関心分野について探究し、「自分の仮説・主張」を伝える。
研究活動	STEP1 input	興味を持てそうな、異なる分野の『新書』を探して読む（2 冊）	自分の関心のある分野の『書籍』を探して読む（3 冊以上）	探究するために必要な『書籍・文献』を探して読む（3 冊以上）
	STEP2 summarize	①より興味をひかれた１冊について、自分が面白いと思った内容をまとめる。 ②他の人にわかりやすく説明するためのパワポを作る。	①自分が選んだテーマの面白さや、一般論（世間の常識）とは違う「意外な見解」をまとめる。 ②本の内容を抜粋しながら、自分が選んだテーマの面白さを伝える発表用パワポを作る。	①自分の関心があるテーマについて、先行研究の論点を整理し、自分なりの見解をまとめる。 ②先行研究を引用しながら、自分なりの仮説・主張をパワポにまとめる。
	STEP3 output	①学年ごとにパワポによる発表＋質疑応答を行う。 ②質疑応答の内容を受けてパワポを修正・完成させる。 ③芸術研究発表会で全員が学年・クラスを越えてプレゼンを行う。		





（左）研究内容のポスター展示
（中）小グループでの発表
（右）芸術研究発表会でのプレゼンテーション

なでしこ発表会

中学校では、９月に「なでしこ発表会」が開催されます。バトン部、吹奏楽部、音楽部などの文化部が中心となって、保護者や一般のお客様に日頃の活動の成果を披露します。当日は、在校生が校内を案内する「キャンパスツアー」や、受験生のための「学校紹介コーナー」も行っています。




スポーツ大会・合唱祭

秋にはスポーツ大会が行われます。大縄とび、大玉送り、ドッジボールなど、さまざまな競技を１年生から３年生までのクラス対抗で行います。また、２月の芸術研究発表会に合わせて開催される合唱祭も１年を締めくくる大切な行事として、各クラスが一丸となって取り組みます。




生徒会活動

生徒たちの手で学校を運営していくために以下の委員会が置かれており、それぞれ活発に活動しています。(以下の文章は生徒による委員会紹介の文章です)

生徒会総務

生徒会総務は生徒の代表として、スポーツ大会やなでしこ発表会、芸術研究発表会の運営などを主な仕事として活動します。意見箱を設置するなど、この学校をより良くするために積極的に働いています。

環境委員会

学校や学校周辺の環境を守るためにポスターを作ったり、クリーン作戦を企画したりします。とてもやりがいがあって、楽しい委員会です。

体育委員会

体育委員会は係と兼務で、授業の時に号令をかけたり、皆の前で体操をしたりします。また月１回の委員会では、スポーツ大会の企画や運営の仕方などについて話し合います。

新聞委員会

仕事内容は学校だよりの作成で、主にイベントの感想や先生にインタビューをします。年に数回出されるので、ぜひ読んでください!!!

図書委員会

図書委員会は、毎日交替で予約のあった本を予約した人に届け、本棚の整理を行います。また、オススメの本の紹介カードを書いたりもしています。

風紀委員会

風紀委員会は学校の風紀面をチェックする委員会です。あいさつ運動や服装チェックなどを行います。

放送委員会

放送委員会では、お昼の放送で音楽を流します。また、スポーツ大会や仏教行事などの学校行事で、カメラ・ビデオ撮影や放送を担当します。

保健委員会

保健委員会は、具合の悪い人を保健室に連れて行くだけでなく、水道の水質検査や、健康の意識を高めるポスターの作成も行います。大変だけど楽しい委員会です。

学校誌編集委員会

学校誌編集委員会では、今年の行事や活動、生徒アンケートなどを記事にして中学校の学校誌「かさね」にまとめるという仕事を行っています。

※上記のほかに「中央委員会」と「選挙管理委員会」(臨設) があります。

土曜講座

中学では、情操教育とキャリア開発の一環として土曜講座を開設しています。コース制の導入にともない、2024 年度から講座が新しくなり、さらに充実した内容となっています。

お茶の水女子大学 理科実験講座 (医科学進学コース 1･2 年生)

医科学進学コースは、土曜講座で「理科実験講座」を受講します。この講座はお茶の水女子大学サイエンス＆エデュケーション研究所と本校による中高大連携講座で、同大学の教授陣とスタッフが中学 1･2 年生を直接指導します。「立体視の仕組み」「光合成色素の多様性」「海の動物の多様な形」「磁石と風車で探究する風力発電」など、様々な実験器具や観測器具を使っての体験型授業を行っています。



グローバル探究講座 (特別進学コース 1・2 年生)

特別進学コースは、土曜講座で「グローバル探究講座」を受講します。自分のやりたいこと、好きなことを探りながら、学問への探究心を高め、自分の将来に繋げていくためのキャリア開発講座です。「視覚情報を学びに変える方法」「クリティカル思考」「デザイン思考」など、思考力を高めるためのスキルや「ストーリーテリング」「英語化の注意点」などグローバルな表現力も身につけていきます。



外国語講座 (2 年生・3 年生)

中学 2 年生、3 年生向けに英会話、中国語・スペイン語などの外国語講座も開講しています。

※年度によって設置講座は変わることがあります。





クラブ活動

クラブ活動は、集中力、困難に立ち向かう姿勢、チームワークと優しい思いやりの心を身につけ、目標を達成したときの喜びと達成感は努力することの素晴らしさを教えてくれます。本校でも積極的に参加するよう呼びかけており、中学校ではほぼ全員、高校１年時では約８割の生徒がクラブ活動に参加しています。中学校で参加できるクラブは運動部６部、文化部 17 部、高等学校では運動部 11 部、文化部 23 部あります。中学校では、学習との両立を考えて活動は週３日以内としています。以下に主なクラブを紹介します。（活動曜日は変更することがあります）

バスケットボール部 **[活動日／火・水・金　於／体育館]**
外部からコーチが来てくださり、年５回の公式戦に向けて、みんなで元気に活動しています。

バドミントン部 **[活動日／月・木　於／体育館]**
年に2、3回ある大会にむけ、日々楽しくワイワイと、かつ真剣に取り組んでいます。

硬式テニス部 **[活動日／月・水・木　於／テニスコート]**
県大会を目標にして、日々努力中。学校に良い成績と賞状を持ち帰れるよう頑張っています。

サッカー部 **[活動日／水・金　於／鹿苑グラウンド]**
年に2、3回、他校との練習試合があり、試合に勝てるよう準備します。とっても仲がいい部活です。

バトン部 **[活動日／火・水・木　於／ ASUMA 記念館]**
私たちは文化祭や大会に向けて日々練習に励んでいます。初心者でも大歓迎です。

科学部 **[活動日／木　於／中学理科室]**
ウーパールーパー、亀、メダカなどの生き物の世話から実験まで、楽しく、忙しく活動しています。

歴史研究部 **[活動日／火　於／教室]**
史跡や博物館等へフィールドワークに行くため、平日の活動ではその企画や下調べをしています。

文芸部 **[活動日／水　於／教室]**
年に４回程度、部誌『光明』を発行。編集や製本はすべて部員の手で行うので、やりがいがあります。

E.S.S. 部 **[活動日／木　於／教室]**
ネイティブの先生と会話をしたり、英語でゲームをしたり、DVDを見たり…。英語が苦手でも大丈夫です！

美術部 **[活動日／木・金　於／美技室]**
デッサンや油絵、水彩画など、美術部ならではの活動をしています。のんびりしていて楽しい部活です。

音楽部 **[活動日／水　於／利行堂]**
なでしこ発表会や、年に2回ほどのミニコンサートに向けて一生懸命練習しています。

吹奏楽部 **[活動日／火・水・金　於／中学音楽室]**
なでしこ発表会や、ミニコンサートなど、みんなで力を合わせて演奏するのはとても楽しいです。

演劇部 **[活動日／火・木　於／教室]**
なでしこ発表会では、部員全員の力を合わせて、1つの劇を完成させます。終わった後の達成感は素晴らしいです！

【その他の運動部】 卓球部、剣道部

【その他の文化部】 箏曲部、書道部、茶道部、家庭科部、写真部、華道部、競技かるた部、ディベート部

バトン部　気持ちを一つにして全国大会をめざす！

バトン部は、毎年のように全国大会に出場しています。全国大会への道のりは平たんなものではありませんが、「なんとしても努力を成果として残したい」と、部員全員が気持ちを一つにして頑張っています。



チーム名は『GRACE』。10 年連続ソングリーディング全国大会に出場

吹奏楽部　文化祭や定期演奏会などたくさんの発表の機会があります。

中学校の中でも非常に人数の多いクラブで、さまざまな行事に積極的に参加しています。高校生と演奏する定期演奏会や、吹奏楽コンクール、なでしこ発表会など聴いて下さる多くの方に感動を届けられるよう練習に励んでいます。


2023 年度アンサンブルコンテスト埼玉県大会で銀賞を受賞。写真はなでしこ発表会の様子

高校のクラブ

【運動部】 バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、硬式テニス部、陸上競技部、ソフトボール部、剣道部、弓道部、サッカー部、卓球部、テコンドー部

【文化部】 バトン部、吹奏楽部、美術部、音楽部、箏曲部、書道部、軽音楽部、茶道部、文芸部、華道部、インターアクト部、歴史研究部、E.S.S. 部、家庭科部、ダンス部、写真部、科学部、演劇部、競技かるた部、クイズ研究部、ディベート部、卓上ゲーム部、映像研究同好会

募集人数

「医科学進学コース」と「特別進学コース」の２コース制※です。
入学後、本人の希望と成績を考慮して、コースを変更することも可能です。

	概要	募集人数
医科学進学コース	医学部、薬学部や超難関理系学部への進学をめざす。	**40 名**
特別進学コース	文系・理系を問わず、国公立大学・難関私立大学への進学をめざす。	**120 名**

※ 2027 年度より、「医進コース」は「医科学進学コース」、「特進コース」は「特別進学コース」にコース名が変更になります。

2027 年度入学試験実施要項（抜粋）

		医科学進学コース特別入試	第１回入学試験	第２回入学試験
募集定員		**医科学進学コース：25 名**	**医科学進学コース：15 名** **特別進学コース：95 名**	**医科学進学コース：若干名** **特別進学コース：25 名**
出願	**出願方法**	インターネット出願 ※詳しくは本校ホームページにある入試要項をご覧ください。		
	出願期間	12 月 1 日（火）～1 月 7 日（木）18:00		1 月 14 日（木）～ 2 月 3 日（水）22:00
入学試験	**試験日**	1 月 10 日（日）14:00 集合	1 月 13 日（水）	2 月 4 日（木）
	試験会場	本校校舎	本校校舎 GMO アリーナさいたま ※出願時に選択。ただし、GMO アリーナさいたま会場は席数に限りがあるため、満席の場合は本校会場になります。	本校校舎
	試験科目と配点	【算数・理科】各 50 分・各 100 点 合計 200 点 ※面接はありません	両コース共通問題。出願時に第 1 志望、第 2 志望を選べます。 国語・算数 … 各 50 分・各 100 点 社会・理科 … 併せて 60 分（第 1 回）または 50 分（第 2 回）・各 50 点 合計 300 点 ※面接はありません	
	入学検定料	25,000 円	25,000 円（2 回目以降の受験料は 10,000 円）	
	発表日	1 月 11 日（祝・月）16：00 インターネット	1 月 14 日（木）14：00 インターネット	2 月 5 日（金）9：00 インターネット
入学手続き		2 月 4 日（木）16：00 まで		2 月 5 日（金）12：00 まで

※インターネット出願の方法は、こちらの専用ページで詳細をご確認ください。
https://www.shukutoku.yono.saitama.jp/junior/exam/application.html

過去の入学試験結果

		医進コース特別入試		第１回入学試験		第２回入学試験	
		2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度
入試日		１月 10 日	１月 10 日	１月 13 日	１月 13 日	２月４日	２月４日
試験科目と配点		算数・理科…各 100 点 計 200 点満点		国語・算数…各 100 点、社会・理科…各 100 点 計 300 点満点			
募集定員		医進：25 名		医進：15 名 特進：95 名		医進：若干名 特進： 25 名	
応募者数		489 名	685 名	2031 名	2128 名	148 名	209 名
受験者数		477 名	682 名	1761 名	1868 名	136 名	191 名
合格者数		236 名	234 名	1266 名 （医進 336 名）	1020 名 （医進 135 名）	27 名 （医進２名）	30 名 （医進２名）
繰上候補者数		—	—	—	—	32 名	31 名
繰上合格者数		—	—	—	—	３名	24 名
最高点	国	—	—	88	84	82	83
	算	100	100	100	100	80	97
	社	—	—	42	42	48	42
	理	98	100	47	45	43	49
	合計	198	200	247	246	230	236
平均点	国	—	—	59.5	53.0	63.8	56.7
	算	64.8	53.7	52.0	54.8	42.5	68.7
	社	—	—	25.0	28.3	31.1	28.2
	理	63.2	68.0	26.9	26.3	30.3	32.3
	合計	128.0	121.7	164.9	162.3	167.7	185.9
合格者平均		152.1	153.5	178.9	184.0	201.6	220.9
合格最低点		129	137	150 （医進 165）	160 （医進 190）	192 （医進 219）	214 （医進 224）

本校受験者の主な併願校

併願校	2026	2025	併願校	2026	2025	併願校	2026	2025	併願校	2026	2025
浦和明の星女子	341	498	山脇学園	220	197	東洋英和女学院	144	140	洗足学園	105	120
吉祥女子	341	475	頌栄女子学院	171	191	フェリス女学院	135	121	香蘭女学校	98	91
女子学院	276	227	雙葉	168	188	学習院女子	120	210	恵泉女学園	88	95
鴎友学園	258	310	大妻	154	282	大宮開成	120	151	立教女学院	88	87
豊島岡女子学園	250	286	栄東	149	236	桜蔭	108	83	開智所沢	84	122

※第１回・医進特別入試受験者アンケートの第1希望～第４希望の合計数

② 入学時・1 年次納入金（2026 年度実績）

学費等納入金一覧

※下記はすべて 2026 年度の実績で、2027 年度は変更することがあります。

項　目	内　訳　等	金　額
入学時納入金	入学金	250,000 円
	施設費	50,000 円
	PTA 入会金	2,000 円
学費等（３期分納）	授業料	年額 420,000 円
	維持費	年額 223,000 円
	生徒会費	年額 4,800 円
	PTA 会費	年額 12,000 円
納入金（2 期分納） ※余剰金が出た場合は返金あり	教材費・実力テスト費　等	200,000 円
	PC（Surface）とアクセサリーおよびアプリケーションのライセンス一式	160,000 円

◎入学後に、任意の寄付金（1口 50,000 円・1 口以上）のご協力をお願いしています。

指定品等一覧

※下記は中学入学時のものです。高校入学時に高校用の冬スカートを新たに購入します。
価格は 2026 年度実績もしくは予定価格で、今後変更することがあります。

項　目		品　名	金　額（税込）
制服関係	指定品	ジャケット　（冬服）	26,840 円（税込）
		冬スカート　（エンジチェック）	18,590 円（税込）
		夏スカート　（ブルーチェック）	17,160 円（税込）
		長袖ブラウス　（冬・オフホワイト）	5,170 円（税込）× 3
		半袖ブラウス　（夏・オフホワイト　前立ブルー）	4,950 円（税込）× 2
		リボン　（エンジと紺）	1,980 円（税込）× 2
		ベスト　（サマーベスト・白）	5,700 円（税込）
		ソックス　（白）	1,600 円（税込）
	任意購入	コート　（ショートタイプ）※1	31,130 円（税込）
		ポロシャツ　（紺・盛夏用）	4,950 円（税込）
		セーター　（紺または白）	6,800 円（税込）
		スラックス　（夏用）	19,360 円（税込）
		スラックス　（冬用）	20,240 円（税込）
体操着関係	指定品	トレーニングシャツ　（ネーム入り）	6,200 円（税込）
		トレーニングパンツ　（ネーム入り）	4,500 円（税込）
		ハーフパンツ　（ネーム入り）	3,600 円（税込）
		半袖 T シャツ　（ネーム入り）	3,500 円（税込）× 2
		体育館シューズ　（シューズ袋付）	4,900 円（税込）
		グラウンド用シューズ（色紐付）	3,850 円（税込）
通学カバン	指定品	中学用通学カバン　（リュックタイプ・黒）	15,400 円（税込）

項　目		品　名	金　額（税込）
靴関係	指定品	上履き	2,970 円（税込）
	任意購入	学生靴ローファー　（　　牛　革　　）ハルタ製 ※２	8,200 円（税込）

校外学習の費用など

※下記はすべて 2026 年度の実績または予定で、2027 年度は変更することがあります。

項　目	内　訳　等	金　額
宿泊を伴う校外学習	新入生オリエンテーション合宿（中１）	約 57,500 円
	台湾海外研修（中２）	約 173,800 円
	京都・奈良修学旅行（中３）	約 114,000 円
	アメリカ修学旅行（高２）	約 400,000 円
生徒総合補償制度	（全員に加入をお願いしております）※３	20,000 ～ 44,000 円

※台湾海外研修、京都・奈良修学旅行、アメリカ修学旅行は分納が可能です。

※１ ＜Ｐコート＞
任意購入品ですが、冬季にコートを着用する場合には本校指定コートのみ着用可となりますのでご注意ください。
ご購入の申し込みは入学後（９月を予定）になります。

※２ ＜通学靴＞
任意購入品です。黒の革靴（ローファー）であればメーカーは問いません。
指定品販売日に推奨品としてハルタ製の通学靴をご紹介するほか、ご入学後は本校売店でもご購入いただけます。

※３ ＜生徒総合保障制度＞
生徒ご本人をカバーする保険であれば、ご家庭で加入されている保険でもかまいません。なお、本校でご紹介する保険以外でご契約の場合は、ご入学後、保険証書の写しをご提出いただきます。

6 学校基本情報

さいたま新都心駅から徒歩7分。環境にやさしいエコキャンパスです。

キャンパスはＪＲさいたま新都心駅･北与野駅から徒歩 7 分、大宮駅からも徒歩 15 分と通学に便利な立地です。
中学校と高等学校は同じ敷地内にありますが、校舎は分かれています。



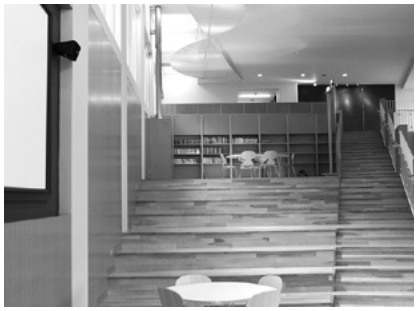




中学校校舎(写真右上)と高等学校校舎(上)。中学校舎は「自然との共生」をテーマに、風力発電やエコ･ガーデンが組み込まれた環境に優しいキャンパスで、『彩の国景観賞』を受賞しています。2015 年に完成した高校校舎は『エコ & スマートスクール』をコンセプトに、地中熱を利用した輻射熱による冷暖房システムを採用するなど、中学校同様環境にやさしいキャンパスです。右下は全面人工芝の円阿弥グラウンド。



＜鹿苑グラウンド＞ 体育の授業やクラブ活動で利用するオール天然芝のグラウンドです。



＜メディアステップ＞ 大きく階段状に広がる空間は、生徒たちの憩いの場です。



＜エコガーデン・ビオトープ＞ 2階・3階の屋上にはエコガーデンがあります。



＜体育館＞ 校舎と一体型の体育館はとっても広くて明るい！



＜利行堂＞ 高校校舎の7階にある礼拝堂。仏教行事や「淑徳の時間」などで利用します。



＜特別教室＞ 中学校舎には理科室、音楽室、美術技術室、家庭科室があります。



＜シアター＞ 音響設備の整った 120 人収容のシアター。



＜図書館＞ 蔵書数約 57,000 冊。自習スペースもあります。

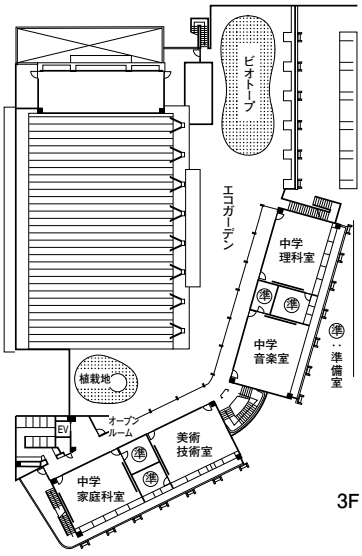


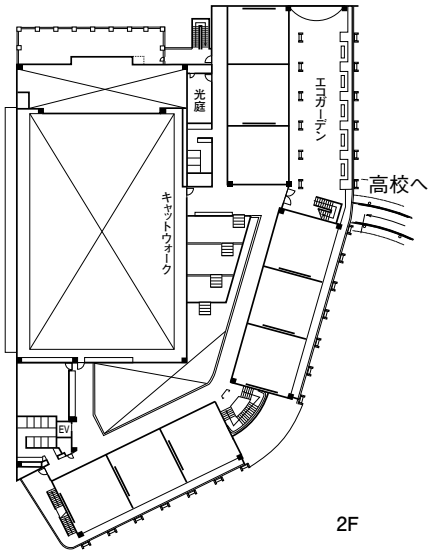
＜屋上運動場＞ 屋上は人工芝のグラウンドになっています。

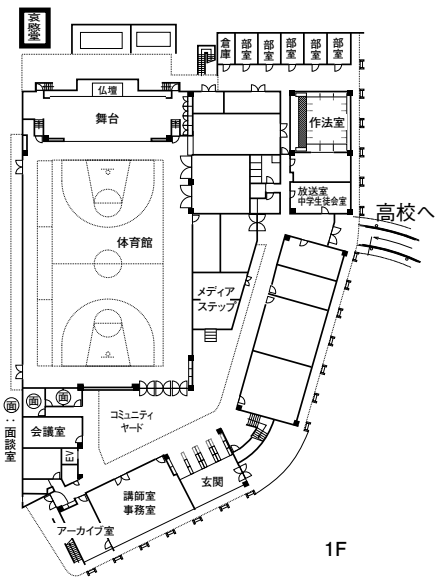


＜カフェテリア＞ 中高共同利用のカフェテリアと売店があります。

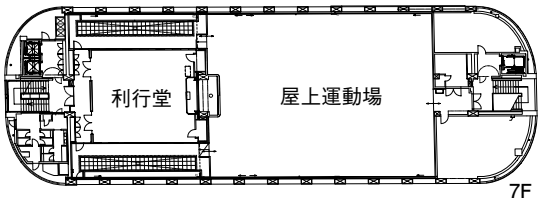
●キャンパス案内図

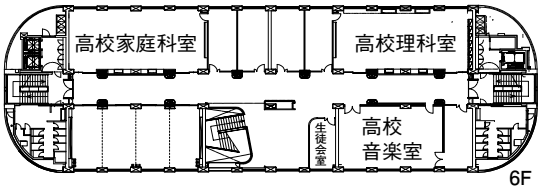


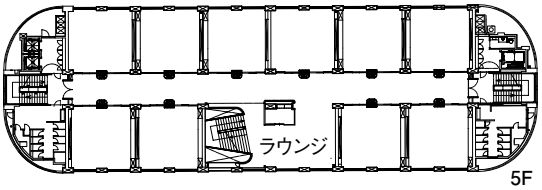


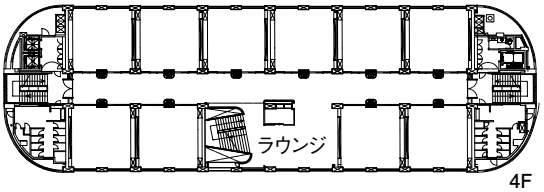


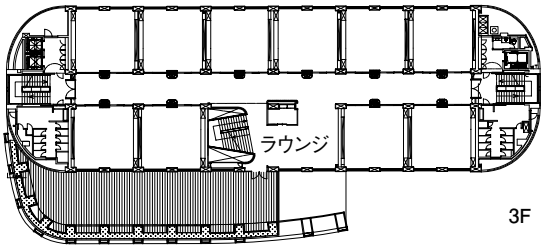
中学校校舎

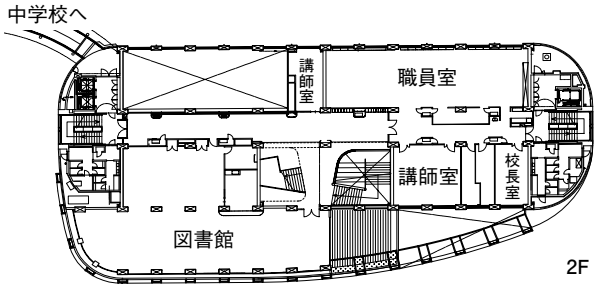


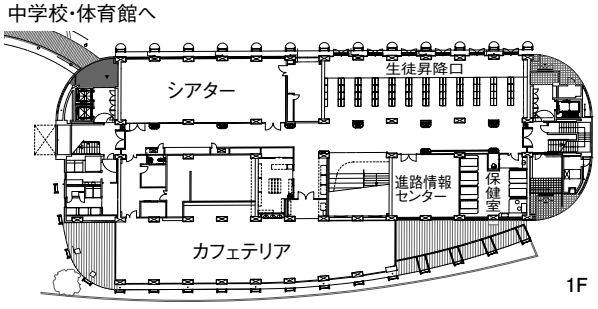










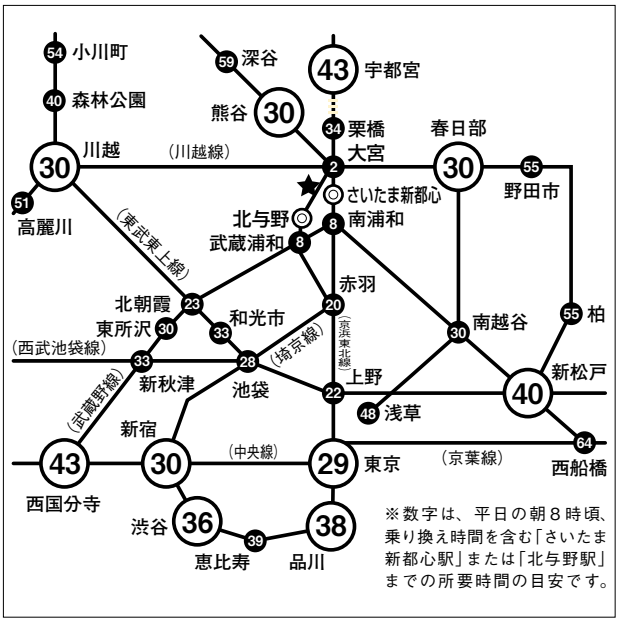


高等学校校舎

中学在籍者地域別一覧（中1～中3生の合計）

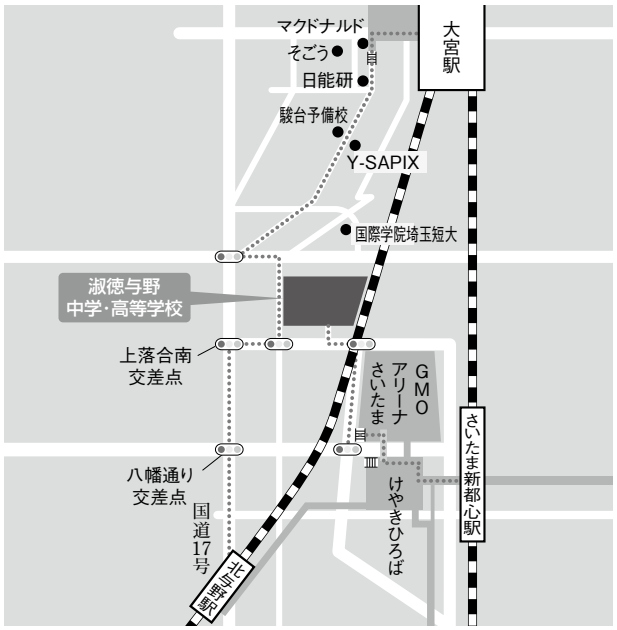
県名	市・郡・区名	人数	県名	市・郡・区名	人数
埼玉県（301名）	さいたま市	115	東京都（204名）	小平市	7
	川口市	36		新宿区	6
	越谷市	12		台東区	5
	川越市	11		江東区	5
	新座市	10		杉並区	5
	戸田市	9		中央区	4
	和光市	9		中野区	4
	朝霞市	8		西東京市	4
	志木市	8		港区	3
	上尾市	7		品川区	3
	所沢市	6		江戸川区	3
	富士見市	6		国分寺市	3
	吉川市	6		大田区	2
	草加市	5		渋谷区	2
	久喜市	5		武蔵野市	2
	坂戸市	5		府中市	2
	三郷市	4		千代田区	1
	ふじみ野市	4		世田谷区	1
	熊谷市	3		葛飾区	1
	加須市	3		三鷹市	1
	本庄市	3		昭島市	1
	蕨市	3		調布市	1
	白岡市	3		日野市	1
	行田市	2		東村山市	1
	東松山市	2		福生市	1
	春日部市	2		清瀬市	1
	深谷市	2	千葉県（15名）	流山市	6
	桶川市	2		松戸市	3
	幸手市	2		柏市	3
	三芳町	2		千葉市	1
	鴻巣市	1		市川市	1
	北本市	1		船橋市	1
	八潮市	1	神奈川県（8名）	川崎市	5
	蓮田市	1		横浜市	3
	鶴ヶ島市	1	栃木県（7名）	宇都宮市	5
	宮代町	1		小山市	2
東京都（204名）	北区	42	茨城県（2名）	古河市	1
	板橋区	23		守谷市	1
	練馬区	18	静岡県（2名）	御殿場市	1
	豊島区	15		長泉町	1
	文京区	13	新潟県（1名）	湯沢町	1
	荒川区	8	生徒数計（540名）	1年生	200
	足立区	8		2年生	168
	墨田区	7		3年生	172

主な駅からの所要時間



※数字は、平日の朝8時頃、乗り換え時間を含む「さいたま新都心駅」または「北与野駅」までの所要時間の目安です。

案内図



【最寄り駅】JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線（上野東京ライン）「さいたま新都心駅」より徒歩約7分。JR埼京線「北与野駅」より徒歩約7分。JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線（湘南新宿ライン）、川越線、東北・上越新幹線他「大宮駅」より徒歩約15分。

Q&A

■カリキュラムや学習指導について

Q 高校には全員進学できますか？

A はい、原則として全員進学できます。高校では難関国公立・私立大学をめざすクラスに所属します。

Q 高校に入ってからのカリキュラムはどうなりますか？

A 高校１年次までは文理共通のカリキュラムを学びますが、高校２年次からは文系と理系に分かれ、各自の進路希望や選択科目に応じた編成となります。

Q 学校は何期制ですか？

A 「5 ステージ通年制」を基本としています。ステージごとに５回の定期考査を設け、ステージとステージの間に休暇を入れて、学校生活にメリハリをつけています。

Q 定期考査以外にどのようなテストがありますか？

A 範囲を限定しない実力テストや教科ごとの確認テストのほか、小テストなども随時行われます。

Q 習熟度別クラス編成にしますか？

A 中３の英語と数学の授業で、一部とり入れています。ただし、手厚く面倒見のよい指導を常日頃より行い、学習につまずいた時点で即座に声をかけたり、放課後の補習や定期考査後に「ステージサポート」を実施したりしますから、心配されるような著しい学力差がつくことはありません。

Q プールがないようですが、水泳の授業はどのように行っていますか？

A 毎夏、集中授業として水泳実習を外部のプールを用いて行います。

Q 中学で高校の内容まで学習するということは、授業の進み方が速いのですか？

A 中学のカリキュラムは特に英語・数学・国語を中心に標準時数より多めに設定しています。そのため、自然と先に進みますが、決して進み方を速くしているわけではありません。無理のない速度で授業は進めていきます。

Q 塾などに通う必要はありますか？

A 学校の授業ですべてまかなえる体制を組んでいますので、基本的に塾に行く必要はありません。また、塾に頼る学習習慣を身につけてしまうと学校の勉強をおろそかにしがちです。学校中心の学習習慣を身につけるよう、日頃から指導しています。

Q 授業がわからなくなった時、フォローする体制はありますか？

A 授業内容の理解度をはかる小テストなどをこまめに実施し、理解が不十分な生徒を対象に再テストをしたり、補習を行ったりしています。また定期考査で理解が不十分なことが判明した場合は、定期考査ごとに行っている「ステージサポート」で、もう一度復習する機会を設けます。

■学校生活について

Q 仏教主義の学校だと聞いていますが、どのようなことを学ぶのですか？

A 主に「淑徳の時間」で宗教（道徳）を学び、おかげさまの心や共生の思想を学びます。また、謙虚な心を大切にしようと、生徒と教師が授業の開始時と終了時に合掌して礼をし、年に４回の仏教行事を実施していますが、もちろん、信仰を強要するものではありません。

Q 朝は何時までに登校すればいいのですか？

A 朝は８時 30 分から「朝の読書」等を行っています。始業は8 時45 分からですので、余裕をもった早めの登校をお願いしています。

Q&A

Q 昼食はお弁当ですか？

A はい。お弁当は、ご家庭における大切なコミュニケーションアイテムであると考えています。ただし、中１生は週２回、中2･3生は週１回のみ給食を実施しています。また、カフェテリアも利用できますし、売店でパンなども販売していますのでご利用ください。

Q 最終下校時間は何時ですか？

A 年間を通して 17 時 30 分が最終下校時間となっています。ただし、18 時まで自習が可能です。また、試合の近い時などではクラブ活動を 30 分延長し、最終下校を 18 時まで延ばすこともあります。なお、高校は 18 時最終下校ですが、19 時まで自習が可能です。

Q 校則はどのようなものですか？

A 中学生として求められる基本的なルールを校則にしています。具体的には、制服を正しく着用すること、頭髪に手を加えないこと（染毛等の禁止）、学習に関係ないものを学校に持ち込まないこと、礼儀正しくすることなどです。

Q 制服は高校と同じですか？

A 冬服は高校とは別の制服にして、中学生らしさを演出していますが、冬服のブレザー、そして夏服はブラウス・ポロシャツ・スカートとも高校と共通にしています。コートなども高校と共通です。くわしくは 23 ページをご覧ください。

Q 携帯電話の所持は認められていますか？

A はい。緊急連絡を主な使用目的とし、校内では電源を切る約束で認めています。携帯電話やタブレット PC 使用のルールやマナーについての指導も行っています。

Q スクールカウンセラーはいますか？

A はい。思春期という不安定な時期でもあり、心の悩みを相談する相手として外部の専門カウンセラーが定期的に来校します。直接会ってお話をするほか、手紙や電話で相談することも可能です。なおカウンセラーに相談した内容が、学校側に伝わることはありません。

Q 体育祭はありませんか？

A 中学も高校も体育祭はありません。しかし、体育祭に代わる行事として、中・高ともにクラス対抗のスポーツ大会を実施しています。

Q 文化祭はどうなっていますか？

A 中高合同の文化祭「淑煌祭」を 6 月に開催します。また中学単独の行事として、9 月に吹奏楽部、バトン部、音楽部などのクラブ発表会「なでしこ発表会」を開催します。また、2 月には合唱祭や、個人の「創作・研究」の成果を展示・発表する「芸術研究発表会」を実施しています。

Q 通学時間や区域に制限はありますか？

A 特にありません。

Q 自転車通学はできますか？

A はい、できます。ただし、安全面を考え、届け出制になっています。

Q 保護者会や三者面談は年に何回くらいありますか？

A 保護者会は 5 月、7 月、12 月の年 3 回開き、主として学校生活のことや学習のこと、長期休暇中の過ごし方などについてお話します。また、これとは別に学級懇談会を開くこともありますし、宿泊を伴う行事の説明会など、学校に来校していただく機会もあります。さらに、夏休みを迎える前に三者面談を実施します。その他、希望があれば随時面談いたします。

Q 人間関係のトラブルはありませんか？

A もちろんないとはいえません。人間関係を作っていく途上で友だち同士がぶつかりあうことはむしろ自然なことです。またそれを生徒自身の手で解決することで、今後の人間関係作りの基礎的な力となります。しかし陰湿な「いじめ」にまで発展しそうなときは、教員がすぐに対処する体制をとっています。中学校は比較的小さな学校ですので、教員の目が生徒一人ひとりに行き届きます。

Q クラブは全員加入ですか？

A いいえ。クラブは自由参加ですが、現在中学生のクラブ加入率はほぼ 100 パーセントです。

Q 高校に入学してから、中学校とは別のクラブに入れますか？

A はい。高校に入学して改めて中学とは別のクラブに入部してもかまいません。

Q 海外転勤のため転出し再び帰国することになったとき、学校に戻ることはできますか？

A はい、原則として戻ることができます。ただし、中学で転出し高等学校に再入学する場合には、編入試験を受けていただき、その結果によって所属のクラス・類型を決めることになります。

■入試について

Q 入試科目は４科目ですか？

A 医科学進学コース特別入試は算数・理科各 50 分の 2 科目です。第 1 回入試は国語・算数各 50 分、理科・社会併せて 60 分の 4 科目、第 2 回入試は国語・算数各 50 分、理科・社会併せて 50 分の 4 科目です。

Q 入試は何回あるのですか？

A 3 回あります。医科学進学コース特別入試は 1 月 10 日 (午後)、第 1 回は 1 月 13 日、第 2 回は 2 月 4 日に行います。

Q 配点はどうなっていますか？

A 医科学進学コース特別入試は算数・理科各 100 点の計 200 点満点です。第 1 回・第 2 回はともに国語・算数が各 100 点、理科･社会が各 50 点の計 300 点満点です。

Q 面接はありますか？

A ありません。

Q 教科ごとの合格基準点はありますか？

A 特に設けておりません。

Q 帰国生枠はありますか？

A 特に設けておりません。

Q 小学校から出す報告書（調査書）は必要ですか？

A 報告書（調査書）の必要はありません。出願のとき、出席状況を入力する欄と簡単なアンケートがあります。なお、このアンケートは合否に一切関係ありません。ご協力をお願いします。

Q 試験当日に災害などが発生した場合、試験実施状況の案内などはありますか？

A 試験当日の朝 6 時までに実施状況を本校ホームページおよび出願時に登録された E メールにてご案内します。悪天候などの影響で公共交通機関の遅延が発生した場合の対応も、本校ホームページにて随時ご案内します。

SHUKUTOKU

淑徳与野中学・高等学校

〒338-0001　埼玉県さいたま市中央区上落合 5-19-18
TEL.048-840-1035　FAX.048-853-6008
http://www.shukutoku.yono.saitama.jp/